

令和元年度第2回ふるさと向日市創生計画委員会 議事要旨

日 時：令和元年12月23日（月）午前10時から11時15分まで

場 所：向日市役所本館3階 大会議室

出席者：（委員）

中村委員長、西川委員、高橋委員、山本委員、岩崎委員、山舗委員、松井委員、
青山委員、大釜委員 ※欠席 和田委員

（事務局）

清水ふるさと創生推進部長、鈴木総務部長、松下環境経済部副部長

水上市民サービス部長、福岡建設部長、巖嶋上下水道部長、小賀野教育部長

伊藤企画広報課長、内海係長

（傍聴）

1人

内 容： 以下のとおり

1 議題

（1）第2次ふるさと向日市創生計画素案について

①事務局から資料説明

第2次ふるさと向日市創生計画素案について説明。

②意見交換

（委員）

- ・ 放置竹林は今後も増えていく可能性があるが、対策は。

（事務局）

- ・ 対策として、来年度モデル事業を検討している。その事業効果を踏まえて、さらに検討していきたい。

（委員長）

- ・ 各地で放置竹林が問題になっている。私有地が荒れている場合、行政がやるべきなのかという問題もある。

（委員）

- ・ 一度放置竹林となったものを整備するのは大変なので、放置されようとする段階で対策を講じるようにした方が良い。

整備した後の竹林の管理では、障がいのある方の作業所との連携も考えられる。

また、一級品でないたけのこができるだけ高値で販売されるように、たけのこの簡単な湯がき方などもPRして、地産地消をより進めていくべきである。

（委員）

- ・ 今は体験が有料化できる時代。たとえば1回500円でたけのこ掘りや試食を体験してもらう。そうすれば人が集まり活性化する。今ある自然を活かしたい。

(委員)

- ・ 以前、学校給食に向日市の古代米がでていた。古代米はブランド農産品。せっかくなのに残念。

(事務局)

- ・ 第2 向陽小学校で出していた。提供者が高齢になられて、引継ぎの課題があった。

(委員)

- ・ ブランド農産品なのに残念。

(事務局)

- ・ 活用としては、旭米を使用した日本酒月の桂物集女がある。

(委員長)

- ・ 農業と福祉作業所の連携も考えられる。また、年会費制で、手入れから最終の食品の加工まで年間の作業を体験してもらうようなこともある。たけのこでそういう体験も良いのではないか。

(委員)

- ・ 今は SNS の時代。若者はわざわざ情報を取りにいかない。
会社も企業も SNS を活用して営業努力している。細かい情報、例えば、たけのこ何時から何時までセールなどという情報を即座に流せば、すぐに買いに行ける人もいる。

(事務局)

- ・ SNS の活用については LINE とフェイスブックでしている。より一層活用してきたい。

(委員)

- ・ インスタグラムに上げるのに手続き等要るのか。機動力を活かすことやリアルタイムであることが重要。

(事務局)

- ・ 向日市の良いところや魅力のあるところなど誰でもご自由に投稿できる。市の方も公式アカウントからイベントや行事などを発信しているが、随時というところまではいけていない。これからもっと力を入れていかなければならない。

(委員)

- ・ QR コードの配布はできているか。窓口には置いているか。

(事務局)

- ・ 窓口には置いていないが、広報 1 月号に載せる。

(委員)

- ・ あすもあの情報も、ホームページを検索しても趣旨的なことが文字であるだけで、それだけではどんな活動がされているかわからない。

(委員)

- ・ たけのこりんについて SNS を活用しているか。

(事務局)

- ・ ハッシュタグたけのこりんで投稿している。

(委員)

- ・ ハッシュタグは「たけのこ」のように基本的な言葉がよい。たけのこりんという言葉を知らない人がある。

(委員)

- ・ 京都府はリアルタイムでイベントなどの情報をまゆまろが発信している。
たけのこりんではたどりつけないので色々なワードを入れて、そうして、たけのこりんがメジャーになればいい。

(委員長)

- ・ SNS の活用は重要になってきているので、今後検討されたい。

(委員)

- ・ 都市基盤の整備について、道路の整備を市民の方も特に重視している。どのように進めていくのか。

(事務局)

- ・ 都市基盤整備の基礎は都市計画道路。現在、阪急洛西口駅東側の南北の桂寺戸線を整備中で今年度完成予定。
また、JR 向日町駅の東側の牛ヶ瀬勝龍寺線を来年度から本格的に整備開始予定。
また、物集女街道について、寺戸事務所前はすでに完成しているが、北進については京都府が本年度から着手される。
あわせて、幹線市道や通学路、歩道の整備及び安全対策を進めていきたい。

(委員)

- ・ 永田通と物集女街道の交差点について、物集女街道を渡りにくい。
歩道橋はあるがお年寄り、車いす、自転車の方は使いづらい。歩道橋撤去して下に信号を作ることはできないか。近くの幼稚園に通っていたが大変であった。

(事務局)

- ・ これまでから信号機の設置を京都府に要望している。信号機は京都府警の、府道は京都府の所管。10 数年ほど前、一部拡幅した。当時、信号機のつく交差点形状に改良する方向で調整していたが、相当の反対があり、信号機の設置は難しかったが、歩道拡幅工事に繋がった。
- ・ また、その南の歩道橋のところも信号機と横断歩道を再三要望している。警察の見解は今の道路形状では南から北進する車について見通しが悪く、そういう状況で横断歩道はつけられない、というもの。
現在、京都府が物集女街道の北進の工事を計画している。その拡幅と同時に安全な交差点形状になるように、横断歩道と信号機についても強く要望していく。

(委員)

- ・ 道路自体にも「速度を落とせ」などの表示をはっきりするとドライバーもわかりやすい。

(委員長)

- ・ 信号機で車を止めると騒音や排ガスの懸念があるということで反対の声が上がることもある。改善を地道に訴えていかねばならない。

(委員長)

- ・ 都市基盤の整備の関係で、最近の考えた方として、車がなくても不便にならないように、電車やバス、タクシーといった交通機関の組み合わせを見直す時代になってきている。シェアライドや小さい2人乗りのコンパクトカーの活用も考えられる。

(委員)

- ・ 歩くことが楽しくなるような仕掛けも大事。友達を呼んで一緒に楽しめるような。ハード整備だけでは十分でない。賛同や共感といった思いで人はつながる。

(委員)

- ・ コミュニティバスはどのような感じか。

(事務局)

- ・ 10月からぐるっとむこうバス運行している。北ルートは都タクシーのジャンボタクシーで1便平均2.2人、南ルートは阪急バスで1便平均6.5人。運行と利用促進策と同時に始めるのが理想であったが、バス事業者の決定に相当時間が必要であった。これから促進策を検討していくとともに、認知度を高め、市民の皆さまに乗っていただけるよう努めていく。

(委員長)

- ・ バスに対する要望は多かったが、実際運行開始したら乗らないという事例を他自治体で聞く。高齢の方は行きは一緒に行くが、帰りは用事がバラバラで、それぞれタクシーで帰る。運転手不足も全国的な課題。運行していくのであれば、役所の努力だけでなく、市民もみんなで乗ろうとならないと難しい。

(委員)

- ・ 時刻表や行き先をアプリで見れるようにすると便利。出先で紙の時刻表がない場合が多い。また、運行ルートや到着時刻を考えているうちに、やっぱり歩いた方が早い、となる。

(委員長)

- ・ バスの位置情報や運行状況についてグーグルマップの活用も考えられる。岡山や広島バス会社が利用して乗客が増えた。鉄道、バス、シェアサイクル、カーシェアなどを一度に検索できたら便利。

(委員)

- ・ 駅前に待ち時間が過ごせるカフェやお店があれば良い。

(委員)

- ・ ごみ袋の透明化の実施時期はいつごろか。

(事務局)

- ・ 具体的なスケジュールは審議会で諮り検討していくため、現時点で時期は未定。

(委員)

- ・ ゴミ袋の透明化のメリットは。

(事務局)

- ・ 昨年度からゴミ袋の中身の展開調査をしたところ、家庭ゴミではない事業系ゴミが入っていることが多々あり、そういったことの抑制につながる。

(委員)

- ・ プライバシーの観点や生ゴミの不快感などがあり抵抗がある。

(事務局)

- ・ 審議会でも意見があり、当面は、生ゴミなどはレジ袋にくるんで透明袋の中に入れることは差し支えないとする運用を考えている。

(委員)

- ・ 水道管が整備されて 40 年、50 年経っている。耐震適合率を令和 6 年時点で 40%にすることを目指しているが、スピード感として大丈夫か。もっと進めたいけど予算的にこれくらいになってしまうのか。

(事務局)

- ・ 施工業者や職員といった人手のことを考えると、中々進まない。

(委員)

- ・ プラスチックゴミの削減施策は。

(事務局)

- ・ 課題としては認識し、検討はしているが今この計画の中には具体的にどうということろまでは至っていない。今後、中身が固まれば計画の中に入れたい。

(委員)

- ・ どのような運動をスポーツとするのか。

(事務局)

- ・ 競技スポーツだけではなく、散歩なども含めて考えている。今年度アンケートを実施して現状をつかみたい。令和 6 年の目標値 65%というのは国及び京都府の目標値を仮で置いている。

(委員)

- ・ 災害マップが各戸に配られたが、実際は想定以上になることも考えられる。何かあった際にどこに避難すればいいのか。一人住まいの老人は親族が遠くから来られて助けにくる場合が想定される。避難場所の周知が重要。

(事務局)

- ・ 桂川や小畑川などが広域的に氾濫した場合に防災マップ上で浸水が深いところに対して、個別に連絡できる体制を検討していきたい。
障がいのある方や高齢の方のように自力で避難が難しい方等については、地域の民生委員の方や自主防災組織との連携を考えている。

(委員長)

- ・ 防災マップは若い人は見ていないことが多い。学校教育や日常の中で接していく必要がある。

緊急時に外国の方にも伝わらないと意味がないため、せめて英語版は必要。

危険箇所と言えば、東日本大震災でも、昔は谷であったところを埋め立てたところが崩れた事例があった。地価へ影響を考えて調査には慎重さが必要ではあるが、重要。

いざという時は若い力が必要。消防団への入団や訓練への参加もちろん重要だが、そうでなくても、バーベキューとか、普段から気軽なイベント等で近隣の方とふれ合って、顔なじみの関係を作ることが重要。

(委員)

- ・ 2年前の台風で停電等もあったが、関西電力等とも協議して対策を練らないといけない。

(事務局)

- ・ 当時の反省を活かすため、情報共有や連絡体制の整備について関西電力と話をしている。

(委員)

- ・ 竹は防災林のような機能はあるのか。

(委員)

- ・ 竹は風に弱い。整備された盛り土の竹林は一般のものと比べてそこまで根を張っていない。

(委員)

- ・ 災害時の情報発信の仕方が重要。防災マップが手元にない場合でも SNS で情報収集できれば良い。

(委員長)

- ・ 市立図書館は不要という方針を出している自治体もあるが、別の自治体では小学校で読み聞かせに力を入れており、図書館の利用率も上がり、国語力も上がっている。学校図書館と地域の図書館と家庭教育がうまくリンクすれば良い。

(委員)

- ・ 市の広報誌はページも十分で情報もたくさん載っていて、すごく良く出来ていると思うが、さらにどのようなところを充実させていくか。

(事務局)

- ・ 見やすさやわかりやすさを充実させていきたい。

(委員)

- ・ ホテルや観光センター等が相乗効果を発揮して、向日市での消費額が上がっていくことを願っている。

(事務局)

- ・ それらが拠点となって、竹の径や長岡宮跡への訪問につながるようにしていきたい。

(委員)

- ・ ホテルはどのような客が来ると想定しているのか。京都市も飽和状態になるくらいホテルあるし、京都市から交通の便も良い。

(事務局)

- ・ 観光客だけでなく一般の方も考えられるが、具体的な中身はまだ決まっていない。

(委員長)

- ・ ホテルのニーズがあるかどうかは、ホテル事業者が判断する。ニーズがあると判断すれば話進むだろう。観光客以外でも、病院に入院している家族の世話やビジネスでの出張もホテルのニーズになる。

(委員)

- ・ 物集女街道で大型トラック等が原因で渋滞しているのを見るが、何とかできないのか。

(事務局)

- ・ 時間帯で規制されている。警察と連携していく。

(委員長)

- ・ 全国的にドライバーも人手不足で、不慣れなドライバーが増えている。

(委員)

- ・ 農業活性化というところで、長岡京市で道の駅的な施設整備の動きがあるが、連携して活性化できないか。

(事務局)

- ・ 観光センターでは地元野菜の販売も行う。品揃え等の点においても、乙訓での連携は必要と考えている。

(委員)

- ・ 全国的にプラスチックごみ対策が今求められている。注力してほしい。

(事務局)

- ・ 実効性があることが重要と考えており、先進的な取組を参考に、対策を検討していきたい。

(委員)

- ・ 観光ごみ対策としては、まちからごみ箱を撤去し、自分で持ち帰って分別してもらうのがトレンド。

(委員長)

- ・ 本日の意見を参考に策定を進めていただきたい。

以上

令和元年度 第2回 ふるさと向日市創生計画委員会

日 時：令和元年12月23日(月) 午前10時から
場 所：向日市役所本館3階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議題

第2次ふるさと向日市創生計画（素案）について

3 その他

4 閉 会

(素案)

第2次ふるさと向日市創生計画

向日市

第2次ふるさと向日市創生計画（素案） 概要

計画期間

令和2年度から令和6年度まで（5か年度）

施策の柱

- 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり
- 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり
- 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

構成

- 施策の柱
- 施策分野
- 施策

…「基本方向」「取組及び目標」を記載。

数値目標を掲げる場合は、基本的に把握可能な最新の数値（平成30年度実績）と計画最終年度の数値（令和6年度）を記載。ただし、数値把握可能時期や早期達成想定等の関係で他年度を記載する場合がある。

基本的な考え方

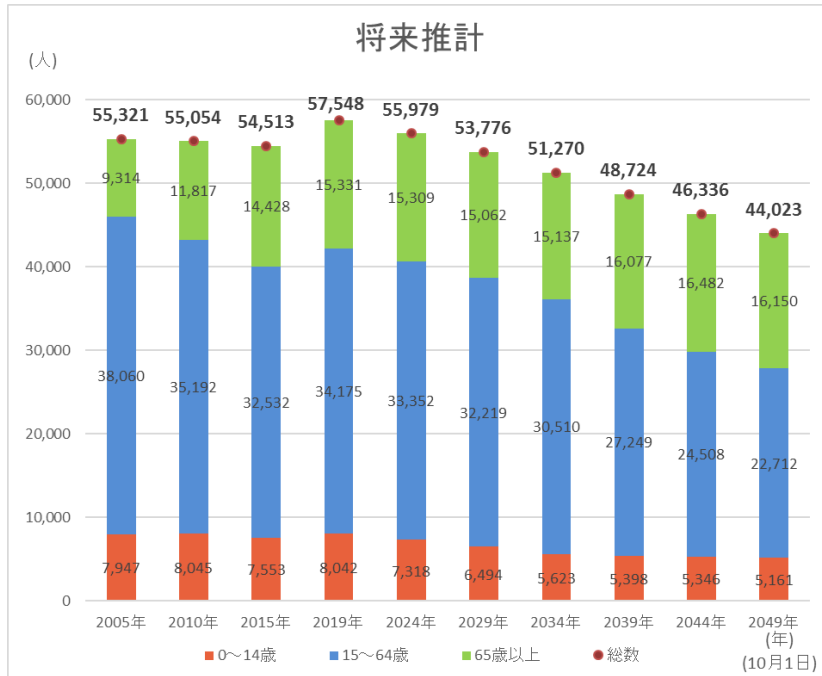
よりわかりやすい計画となるよう、新しい施策や、既存施策であっても拡充して取り組むものを精査して記載。

急激に変化する時代や環境の変化にスピード感を持ってしなやかに対応していくため、計画期間内においても毎年見直しを行う。

【基本フレーム（人口、土地利用）】

本計画を推進していく上で基本となる将来の人口推計と土地利用構想を、次のように設定します。

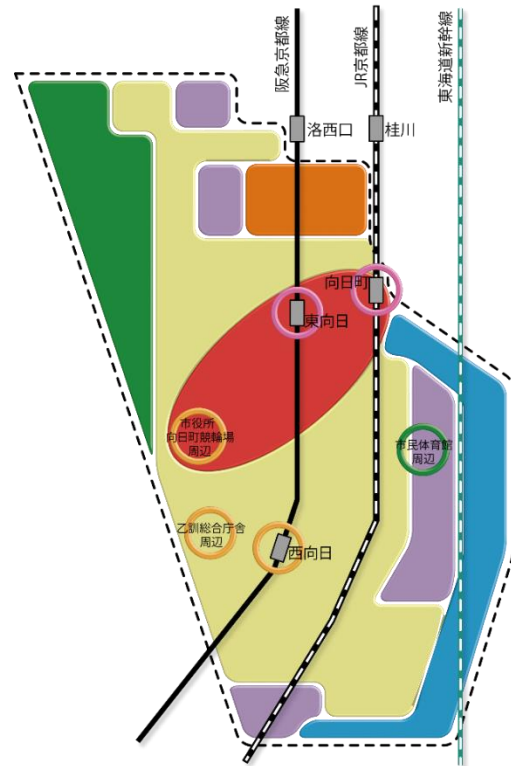
人口



※H22～27 自然動態及び社会移動を基に推計(住民基本台帳人口ベース)(合計特殊出生率については、率増加傾向を考慮し最初の5年間はH25～29 平均1.45 とし、その後H22～26 平均1.33 が続くものとする。)

土地利用

中心にぎわいゾーン	住環境との調和を図りつつ、幹線道路沿いや鉄道駅を中心に商業・業務・サービス等の多様な生活利便施設が集積し、街中を往来する人々でにぎわう市の中心となるゾーン
交流にぎわいゾーン	広域的な商業・業務施設や宿泊施設など、近隣都市や広域からの来訪者のニーズも充足する機能が集積したゾーン
居住地ゾーン	うるおい空間や防災機能の充実した市民が安全で快適に生活できる居住地としてのゾーン
産業ゾーン	京阪神大都市に近く、幹線道路沿道という立地条件を活かした工業・流通業の集積地として、また、新たな産業を創出する場として、本市のものづくりを支えるゾーン
丘陵緑地ゾーン	豊かな自然緑地及び歴史・文化資源を保全・活用し、市民や来訪者のレクリエーションの場としてのゾーン
維持活用ゾーン	都市近郊農業の場として、また、新たな産業（農産業含む）や雇用の場の創出を図る際の余力として、適切な維持管理とまちの活性化に向けた都市的な利用も検討するゾーン



【掲載ページ】

施策の柱Ⅰ	歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり	5
施策分野 1	歴史あふれるまちづくりの推進	6
〃 2	産業の活性化	9
〃 3	都市基盤の整備	11
施策の柱Ⅱ	人と暮らしに明るくやさしいまちづくり	17
施策分野 1	少子化対策・子育て支援	18
〃 2	健康づくりの推進	19
〃 3	高齢者が安心して暮らせる体制の充実	20
〃 4	障がい者福祉の充実	21
〃 5	地域福祉の充実	22
〃 6	環境・資源循環の推進	23
〃 7	生活の安心・安全の確保	24
〃 8	消防力の強化	26
〃 9	ライフラインの強化	27
〃 10	学校教育の充実	28
〃 11	生涯学習の推進	34
〃 12	生涯スポーツの振興	37
施策の柱Ⅲ	信頼と協働で市民の声が届くまちづくり	39
施策分野 1	市民協働の推進	40
〃 2	人権・平和・男女共同参画の推進	42
〃 3	行財政運営力の向上	44

柱 1

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

《施策分野 1》歴史あふれるまちづくりの推進

《施策分野 2》産業の活性化

《施策分野 3》都市基盤の整備

《施策分野1》歴史あふれるまちづくりの推進

施策1 歴史・文化資源の整備と活用

■基本方向

○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進し、未来に継承します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備 …朝堂院公園来訪者数 【H30：8,455人 → R6：10,000人】	文化財調査事務所
国登録有形文化財旧上田家住宅の整備	文化財調査事務所

施策2 観光振興の推進

■基本方向

○「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、ハード・ソフト両面での総合的、多角的な観光施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
(仮称) 向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施 …来館者数【H30： － → R6：92,000人】 …向日市観光人材育成プログラム受講者数 【R1：26人 → R6：200人(R1～6累計)】	企画広報課
「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備	企画広報課
土産等特産品の開発 …開発件数 【H30：7件(H27～30累計) → R6：30件(H27～R6累計)】	企画広報課
ホテル等の複合型宿泊施設の誘致事業の推進	企画広報課 ／まちづくり推進課
観光入込客数 【H30：510,000人 → R6：765,000人】	企画広報課
観光消費額 【H30：150,000千円 → R6：338,000千円】	企画広報課

施策3 まちの魅力の戦略的発信

■基本方向

○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、戦略的に発信します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
SNS（LINE@、Facebook 等）による情報発信力の強化 …LINE@及び Facebook に対する満足度(アンケート結果) 【LINE@ R1：2.92 → R6：3.40、Facebook R1：2.91 → R6：3.40】	企画広報課
「向日市いいところPR隊たけのこりん」による情報発信の充実 …たけのこりんのイベント等への登場回数【H30：0 →R6:50回】	企画広報課
本市に対する市民の定住意向の割合【R1：76.7% → R6：80%以上】	企画広報課

《施策分野2》産業の活性化

施策1 商工業の活性化

■基本方向

○歴史を活かしたまちづくりの施策と連携しながら、向日市商工会や金融機関とともに、商工業者の育成や経営安定を支援する取組を推進し、市内商工業の振興、にぎわいの創出を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
顧客に愛される魅力的な店づくりへの経営支援 …経営指導数【H30：1,400件 → R6：H30実績比10%増】	産業振興課
創業希望者へのきめ細かな支援 …創業件数【H30：3件 → R6：20件（R2～6累計）】	産業振興課

施策２ 農業の活性化

■基本方向

○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や新たなブランド農産品の開発支援、農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
地元農産物の販路拡大と地産地消の促進 …（仮称）向日市観光交流センターにおける地元農産物の販売・支援 【R2 から実施】 …スーパー等、市内小売店舗での地元農産物販売コーナーの設置 【H30：1箇所 → R6：3箇所】	産業振興課
耕作放棄地の防止施策や放置竹林対策の実施 …市民ボランティアによる竹林保全 【H30：未実施 → R6：2箇所】	産業振興課
農商工の連携による特産品の開発への支援 …特産品の開発 【H30：0件 → R6：2件(R2～6累計)】	産業振興課

《施策分野3》都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進

■基本方向

- 都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワークを構築し、活力と魅力あるまちを目指します。
- 市民生活に密着した生活道路・細街路の整備を推進することで、安全で快適な住環境づくりを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
都市計画道路及び幹線市道の整備 …整備路線【都市計画道路牛ヶ瀬勝竜寺線、第3064号線、寺戸森本幹線2号、寺戸幹線6号、向日市道第2013号線（R6）】	道路整備課
生活道路・細街路の整備 …【10路線整備完了（R2～6累計）】	道路整備課
交通安全対策の一層の推進 …通学路【10箇所整備完了（R2～6累計）】 …自転車通行レーンの整備【1路線整備完了（R2～6累計）】	道路整備課
ゾーン30区域の拡大 …【H30：1箇所22.4ha → R6：2箇所30ha】	道路整備課

※図1及び図2参照

図1 令和6年度 整備完了路線

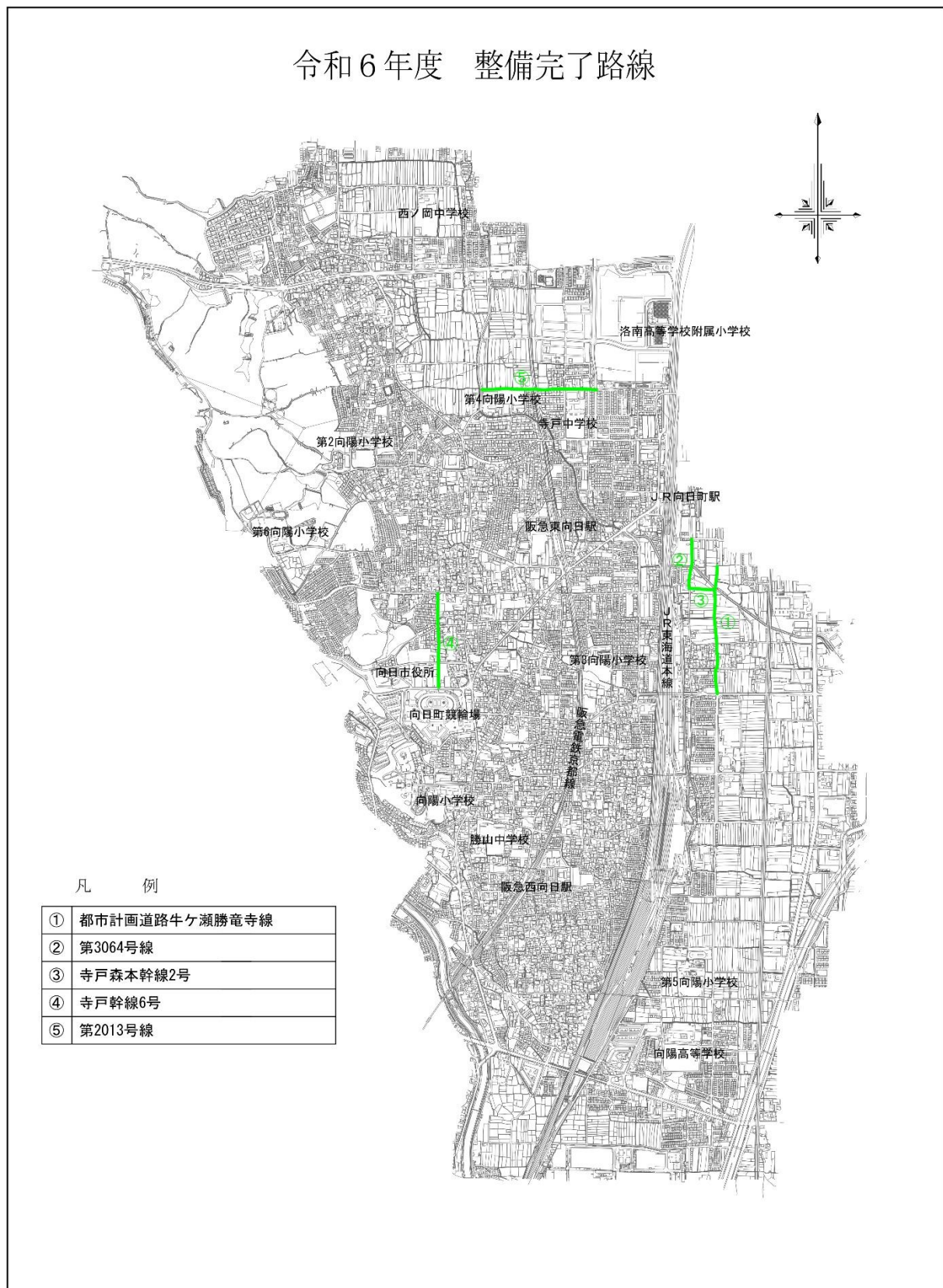
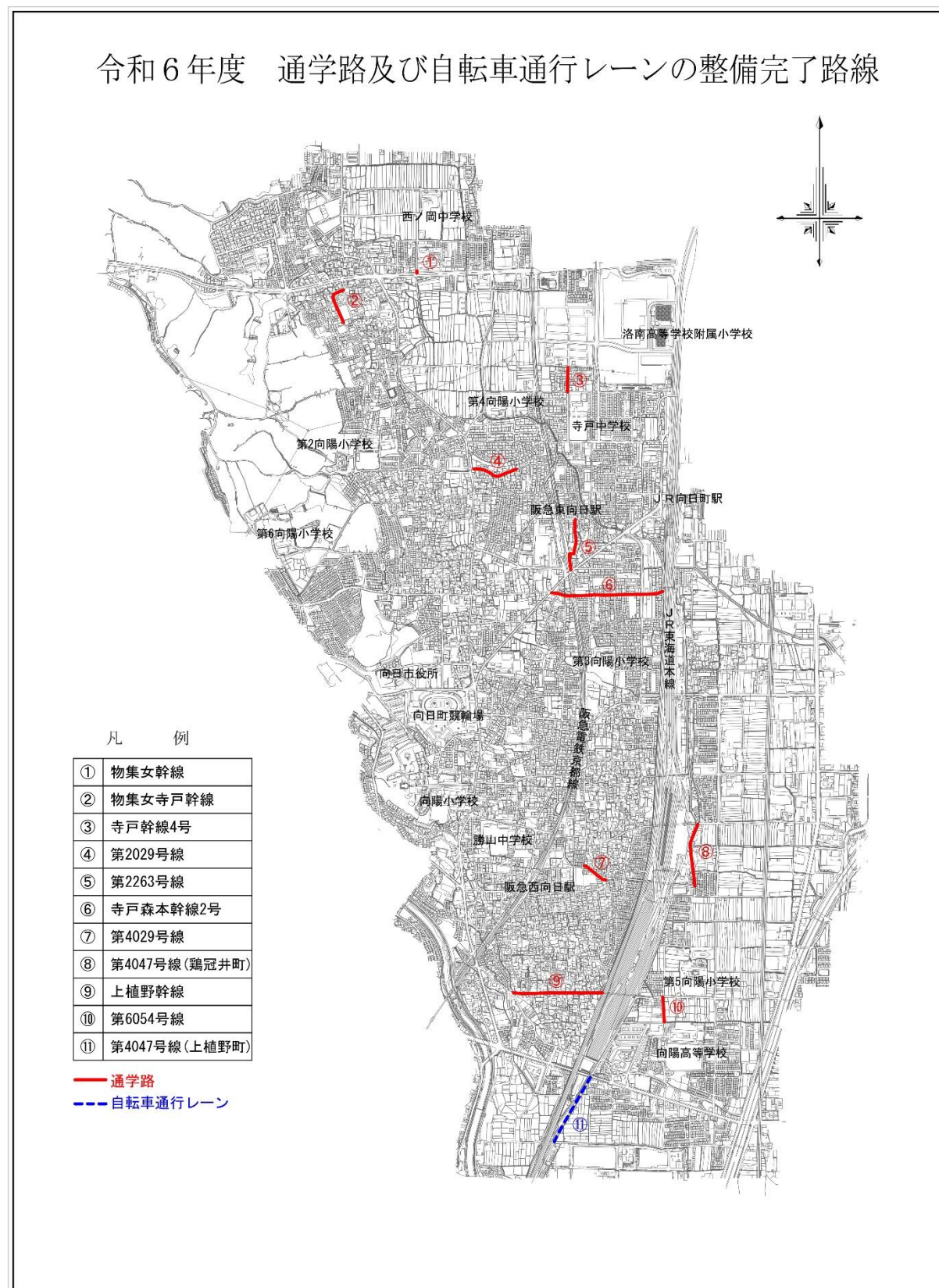


図2 令和6年度 通学路及び自転車通行レーンの整備完了路線図



施策２ 快適で安全便利なまちづくり

■基本方向

○アクセス拠点の整備等、市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進	まちづくり推進課
幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更	都市計画課
歴史探索に利用できる公園整備	公園交通課
地籍調査の推進 …地籍整備率【H30:2.5%→R6：10%】	公園交通課
空家等対策計画、空家対策条例の策定	公共建物整備課
地域特性に応じたまちづくり計画等の支援	都市計画課
名神高速道路スマートインターチェンジ開設事業の推進	まちづくり推進課

施策3 駅周辺の都市基盤整備

■基本方向

- J R向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させるとともに、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図ることで、まちの活性化を図ります。
- 阪急東向日駅について、「古都のむこう、魅力のふるさと」にふさわしい整備を行います。
- 阪急京都線の連続立体交差事業の検討を行い、阪急東向日駅周辺の都市基盤整備を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
J R向日町駅周辺整備事業の推進 …東西自由通路・駅前広場の整備 …市街地再開発事業の事業化 …駅周辺における安全対策の調査・検討	道路整備課／まちづくり推進課
阪急東向日駅周辺整備事業の推進	道路整備課
阪急京都線連続立体交差事業の事業化に向けた検討	まちづくり推進課

柱2

人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

＜施策分野1＞少子化対策・子育て支援

＜施策分野2＞健康づくりの推進

＜施策分野3＞高齢者が安心して暮らせる体制の充実

＜施策分野4＞障がい者福祉の充実

＜施策分野5＞地域福祉の充実

＜施策分野6＞環境・資源循環の推進

＜施策分野7＞生活の安心・安全の確保

＜施策分野8＞消防力の強化

＜施策分野9＞ライフラインの強化

＜施策分野10＞学校教育の充実

＜施策分野11＞生涯学習の推進

＜施策分野12＞生涯スポーツの振興

《施策分野1》少子化対策・子育て支援

施策1 安心して産み育てることができる環境づくり

■基本方向

○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
幼児教育・保育のベストマッチを推進 …待機児童【H30：72人 → R3：0人】	子育て支援課
病児病後児保育所の開設 …病児病後児保育所数（H30：1か所→R2：2か所）	子育て支援課
子ども虐待の未然防止対策の推進 …家庭児童相談室の機能強化（R1：虐待対応専門員未配置→R4配置）	子育て支援課
放課後児童健全育成事業の推進 …放課後児童クラブ数（支援単位数）【H30：16クラブ → R6：18クラブ】	生涯学習課
乳幼児健診全対象者に子育てに関する支援を実施 …乳幼児健診未受診者の面接割合【H30：72.2% → R6：100%】	健康推進課

《施策分野2》健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援

■基本方向

- 市民が主体的に健（検）診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。
- 生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
特定健診の受診率向上 …受診率（向日市国民健康保険実施分）【H29：47.3% → R5：55%】	健康推進課／医療保険課
特定保健指導の実施 …実施率（向日市国民健康保険実施分）【H29：66.1% → R5：65%以上】	健康推進課／医療保険課
糖尿病など生活習慣病の重症化予防 …糖尿病の保健指導を実施した割合 【H29：39.3% → R5：60%以上】	健康推進課
長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防 …長寿健康診査受診率【H30：52.2% → R6：65%】	健康推進課／高齢介護課
がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率【H30：12.1%→R6：14%】 …乳がん検診受診率【H30：10.9%→R6：14.0%】	健康推進課
自発的な健康づくりの推進 …健康ポイント事業参加者数【H30：600人 → R6：1,000人】	医療保険課

《施策分野3》高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステム及び認知症施策の推進

■基本方向

○地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図るとともに、認知症に対する市民の理解を深め、認知症の早期発見・早期対応への取組を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
生活支援コーディネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり …住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数 【H30：2 か所 → R6：10 か所】	高齢介護課
認知症高齢者を支える体制づくり …認知症サポーター数【H30：8,000 人 → R6：9,500 人】 …見守り SOS ネットワーク協力事業所(登録事業所数)【H30：108 → R6：130】	高齢介護課
認知症初期集中支援システムによる早期発見・早期対応への取組の推進 …認知症初期集中支援チームの周知媒体数【H30：2 → R6：5】	高齢介護課

《施策分野4》障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現

■基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる施策の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
相談支援体制の強化 …計画相談支援 作成率【H30：100%→R6：100%】	障がい者支援課
地域での生活を支援する福祉サービスの充実 …就労移行支援事業の利用者数【R1：11人→R6：15人】	障がい者支援課
手話言語条例の啓発・推進 …事業所向けの啓発事業【H30：未実施 → R6：実施】	障がい者支援課

《施策分野5》地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進

■基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
地域共生社会実現サポート事業の推進 …実施事業所数【R1：2事業所 → R6：5事業所】	地域福祉課
地域の見守りネットワーク事業の推進 …協定事業者数【H30：10事業者 → R6：15事業者】	高齢介護課

《施策分野6》環境・資源循環の推進

施策1 持続可能な循環型社会の実現

■基本方向

○ごみの減量化や資源再利用の取組を強化するとともに、地球温暖化をはじめとする環境問題に取り組めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
市役所資源ごみ終日回収ステーションの拡充	環境政策課
家庭ごみの発生抑制及び事業系ごみの排出抑制 …ごみ排出量 【H30：531 g/日・人→R6：490 g/日・人】	環境政策課
ごみ分別の周知徹底及びごみ袋透明化などの実施	環境政策課
太陽光など再生可能エネルギーの利用推進	環境政策課
市役所新庁舎のゼロエネルギービルディングによる整備 …市役所新庁舎の省エネルギー化	総務課／環境政策課／公共建物整備課

《施策分野 7》生活の安心・安全の確保

施策 1 災害対策の充実

■基本方向

- 自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。
- 地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。
- 情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。
- 局地化、激甚化する降雨にも対応するため、雨水幹線整備を進めるとともに、既存小規模排水路の改善等により、更なる浸水安全度の向上に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
防災マップの周知 …防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数 【H30：17回・631人 ⇒ R6：20回・700人】	防災安全課
自主防災組織の育成支援及び消防団との連携強化	防災安全課
桂川・小畑川氾濫時などにおける情報伝達体制の強化	防災安全課
要支援者に対する自主防災組織や消防団、民生委員などによる避難支援体制の整備	防災安全課／障がい者支援課／高齢介護課
地域における避難所運営訓練の実施 …訓練回数【毎年1回実施】	防災安全課
災害備蓄物資の分散配備 …配備箇所数【H30：17か所 ⇒ R6：27か所】	防災安全課
土砂災害特別警戒区域対策の推進	防災安全課
浸水対策下水道雨水幹線等の整備の促進 …和井川1号幹線の整備完了【R2：完了】	下水道課
雨水タンクの助成制度の推進 …設置数【H30：13基（実績） → R6：50基(R2～6累計)】	下水道課

施策２ 防犯力の強化

■基本方向

- 地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。
- 防犯カメラや IoT 技術を活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
地域の防犯ボランティア団体との連携充実	防災安全課
小型電波発信機やスマートフォンの位置情報機能など、IoT 技術を活用した見守りネットワークの構築	防災安全課
通学路や地下道、幹線道路、公園、分別収集ステーションなどへの防犯カメラ整備促進 …防犯カメラ稼働台数【H30：32 台 → R6：300 台】 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数【H30：3 台 → R6：13 台】	防災安全課

《施策分野 8》消防力の強化

施策 1 防火体制と救急救助体制の充実

■基本方向

○自主防災組織や消防団活動を支援するとともに、市民一人一人の救急救命に関する知識を深め、技術の向上に努めることなどによって、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
自主防災組織や自治会・町内会での消火器設置補助	向日消防／防災安全課
消防団による地域行事における警戒活動の実施	向日消防／防災安全課
救急講習受講の啓発	向日消防／防災安全課
火災警報器等防火機器普及促進の啓発	向日消防／防災安全課
向日消防署新庁舎整備	向日消防／防災安全課

《施策分野9》ライフラインの強化

施策1 上下水道事業の安定経営

■基本方向

- 水道施設の計画的な整備や財源の確保、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。
- 水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。
- 下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理を行います。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
水道料金の見直し	営業課
水道管路の耐震化 …重要な管路（基幹管路）の耐震適合率【H30：25% → R6：40%】	上水道課
下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査【年間 300 箇所】	下水道課

《施策分野 10》学校教育の充実

施策1 「質の高い学力」をはぐくむ教育の推進

■基本方向

○「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学力をはぐくむ教育を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善	学校教育課
I C Tを効果的に活用した授業の実施	学校教育課
小中の接続を重視した外国語教育の実施	学校教育課
読書活動を通じた創造力・表現力等の育成	学校教育課
学校の授業時間以外の勉強時間が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合 …【H30：小学4年生（19.7%）、中学2年生（21.7%） → R6：10%以下】	学校教育課
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある子どもの割合 …【H30：小学4年生（94.2%）、中学2年生（97.2%） → R6：増加】	学校教育課

施策２ 豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進

■基本方向

○豊かな情操や道徳心を培い、正義感や責任感、規範意識、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度、前向きに挑戦しやり遂げる力など、豊かな人間性や社会性の育成に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実	学校教育課
伝統や文化、芸術に関する教育の推進	学校教育課
ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実	学校教育課
環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実	学校教育課
人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合 …【H30：小学４年生（94.9%）、中学２年生（96.0%） → R6：増加】	学校教育課
今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合 …【H30：小学４年生（72.4%） → R6：小学４年生（80%）】	学校教育課
新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合 …【H30：中学２年生（63.3%） → R6：中学２年生（80%）】	学校教育課

施策3 たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

■基本方向

- 生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図ります。
- 知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
児童生徒の体力・運動能力の向上 …新体力テストにおける全種別において、全国の平均を上回る （全8種別中、全国平均以上の種別数） 【H30 → R6】 小6：男子7種 女子4種 → 全種別 中3：男子7種 女子5種 → 全種別	学校教育課
食に関する授業の充実等による食育の推進	学校教育課

施策4 一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育

■基本方向

- 一人一人をかけがえのない存在として大切にし、その個性を尊重するとともに、その能力と可能性を見出し伸ばす教育を推進します。
- 人権尊重の意識を高め、自分と他者との人権を大切にする児童生徒の育成に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成	学校教育課
障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実	学校教育課
授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実	学校教育課
人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 …【H30：小学4年生（90.1%）、中学2年生（79.4%） → R6：増加】	学校教育課

施策5 安心・安全な教育環境の充実

■基本方向

- 児童生徒が安心して通え、楽しく過ごすことができる居場所としての学校づくりに取り組みます。
- 児童生徒の心身ともに健全な発達を促すとともに、安心・安全な教育環境の充実を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
いじめや暴力行為の防止対策の充実 …いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子どもの割合 【H30：小学4年生（92.1%）、中学2年生（94.4%） → R6：100%を目指す】	学校教育課
不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実 …不登校の児童生徒の割合 【H30：小学校（1.38%）、中学校（4.33%） → R6：減少】	学校教育課
学校危機管理・安全対策の充実	学校教育課
学校施設個別計画を踏まえた改修等の実施	教育総務課
トイレ改修の計画的な推進	教育総務課

施策6 学校の教育力の向上

■基本方向

- 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。
- 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が、明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。
- 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実	学校教育課
保幼小、小中等の校種間連携・接続の充実	学校教育課
コミュニティ・スクールの導入に向けた検討	学校教育課
授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合 …【H30：小学4年生（82.9%）、中学2年生（90.6%） → R6：増加】	学校教育課

《施策分野 11》生涯学習の推進

施策 1 生涯学習環境の充実

■基本方向

○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供	生涯学習課
社会教育施設の特徴を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実	生涯学習課/中央公民館/ 図書館/天文館/文化資料館

施策2 家庭・地域社会の教育力の向上

■基本方向

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。
- 学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供	生涯学習課
地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上	生涯学習課

施策３ 市民文化の振興

■基本方向

- 市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- 本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
新たな市民会館を文化芸術振興の拠点として活用	市民会館
文化芸術資源を活かした市民と来訪者の交流の創出 …文化資料館入館者数【R1：15,461人 → R6：19,000人】	文化資料館

《施策分野 12》生涯スポーツの振興

施策1 スポーツの振興

■基本方向

○市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるライフステージに応じたスポーツ活動の推進	生涯学習課
防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討	生涯学習課
成人の週1回以上のスポーツ実施率【R1：**% → R6：65%】	生涯学習課

柱 3

信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

＜施策分野 1＞市民協働の推進

＜施策分野 2＞人権・平和・男女共同参画の推進

＜施策分野 3＞行財政運営力の向上

《施策分野１》市民協働の推進

施策１ 市民のまちづくり参加の仕組みの構築

■基本方向

○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報紙の充実	企画広報課
地域コミュニティの活性化 …自治会加入率【H30：65.5% → R6：増加】	総務課
市民の主体的なまちづくり活動への支援	広聴協働課
「市民と行政における協働のまちづくり」に対する満足度の向上 …【アンケート調査における満足度数値：R1：2.86 → R6：3.00】	広聴協働課

施策２ 市民交流の推進

■基本方向

○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につなげる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
幅広い分野における都市間交流の推進	秘書課
国際交流を通じた異文化理解の推進	秘書課

《施策分野2》人権・平和・男女共同参画の推進

施策1 多様性を認め合う社会の実現

■基本方向

○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進	広聴協働課／生涯学習課
京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進	広聴協働課
平和行動計画に基づいた事業の展開	広聴協働課

施策２ 男女共同参画社会の実現

■基本方向

○男女の人権が等しく尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
女性活躍推進事業の充実 …女性活躍センター団体等登録数 【H30：21 → R6：50】	広聴協働課
ワーク・ライフ・バランスの普及・推進	広聴協働課

《施策分野3》行財政運営力の向上

施策1 健全で持続可能な行財政運営

■基本方向

○将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。

■取組及び目標

取組及び目標	担当課
市役所新庁舎の整備	公共建物整備課
住民票交付場所の拡大と公金納付の利便性向上 …住民票の交付機及び公金収納機設置【令和2年度新庁舎開設に合わせ開始】	市民課／会計課
健全財政の維持	財政課

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

向 日 市

目次

■ 調査の概要

調査の概要	1
-------	---

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 性別	2
問2 年齢	2
問3 居住地	3
問4 居住歴	3
問5 居住地を向日市に決めた理由	4

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 向日市の住み心地	5
問7 良いと思う点	7
問8 良くないと思う点	9
問9 定住意向	11
問10 雇用・経済の活発化	13
問11 少子化対策	15
問12 安心・安全	17
問13 まちの将来	19

■ 施策の満足度・重要度について

問14 満足度	21
重要度	23

■ ほかに個別の事業に関する設問について

問15 お住いの地域の土地利用	27
問16 賑わいを創出するための土地利用	28
問17 新庁舎展望レストラン運営形態	29
問18 新庁舎展望レストラン営業時間	31

■ 自由意見

自由意見	33
------	----

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

■ 調査の概要

1 調査目的

まちづくりに関して、市民の皆様が日頃感じておられることを把握し、施策の推進に反映する。

2 調査方法

調査名称	向日市のまちづくりに関する市民アンケート
調査地域	向日市全域
対象者	18 歳以上の市民
対象抽出方法	無作為抽出
抽出数	2,000 件
実施期間	令和元年 7 月 16 日から 7 月 31 日まで
調査方法	郵送により配布・回収

3 調査票の回収状況

調査票の有効回収数は 725 件、有効回収率 36.3%の結果を得ました。

4 分析についての注意点

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計値が 100%にならない場合があります。
- ・「2 つ以上を選択回答」の設問については、百分率の合計が 100%を超える場合があります。
- ・図中で「n」は回答者数を示しています。

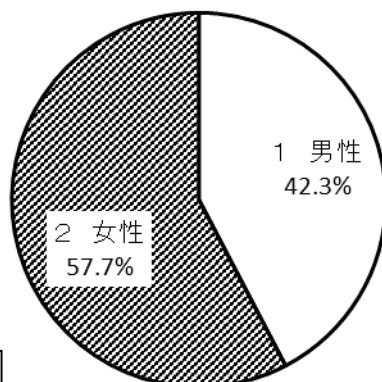
5 調査項目

回答者属性	性別、年齢、居住地、居住暦、向日市選択理由
住み心地やまちづくりの取組について	住み心地や定住意向について ○向日市の住み心地、良い点、良くない点 ○定住意向
	まちづくり課題について ○雇用や経済の活性化について ○少子化対策について ○地域の安全・安心について
	まちの将来について ○まちの将来について
	施策の重要度・満足度について ○文化やコミュニティに関すること。 ○健康や福祉に関すること。 ○にぎわいや活力に関すること。 ○快適な生活環境に関すること。 ○道路の整備に関すること。 ○安心・安全に関すること。 ○土地利用や都市整備に関すること。 ○情報発信全般に関すること。 ○まちづくり全般に関すること。
	ほか個別事業に関すること ○土地利用 ○新庁舎展望レストラン
自由意見	自由記述

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 男性	2 女性
------	------



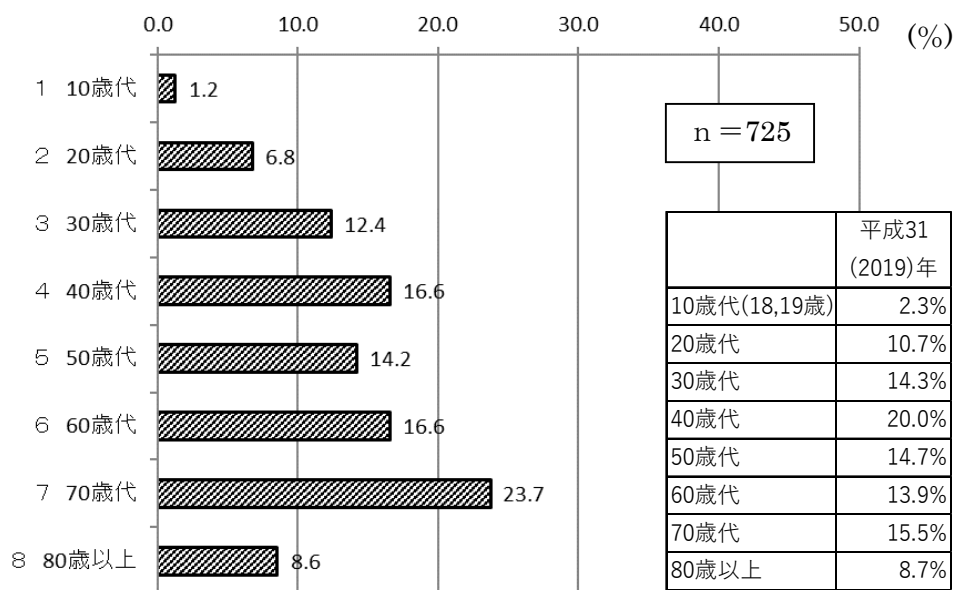
【女性からの回答がやや多い】

○回答者の男女比率は、女性がやや多くなっていますが、差はわずかで、ほぼ半数ずつになっています。

※向日市現状(H31)は男 48.0%、女 52.0%。

問2 あなたの年齢は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。（令和元年7月1日現在でお答えください）

1 10歳代	4 40歳代	7 70歳代
2 20歳代	5 50歳代	8 80歳以上
3 30歳代	6 60歳代	



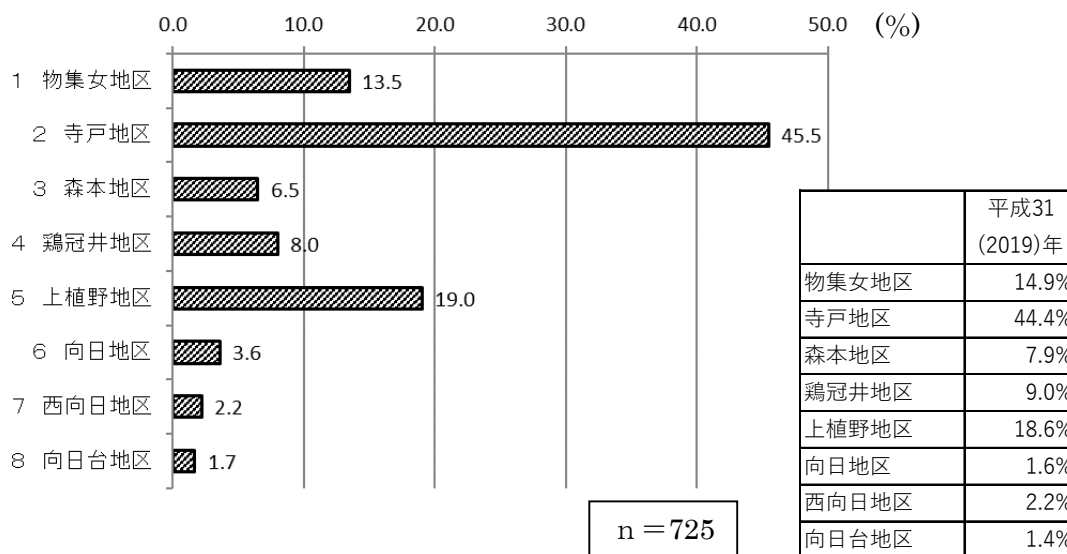
【60歳以上で約半数を占める】

○年代別にみると、70歳代が23.7%と最も高い比率を占め、60歳代以上が48.9%とほぼ半数の回答を占めています。

○向日市現状(H31)の年齢層と比べて回答者の年齢層は高くなっています。

問3 あなたのお住まいは。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 物集女地区	4 鶏冠井地区	7 西向日地区
2 寺戸地区	5 上植野地区	8 向日台地区
3 森本地区	6 向日地区	

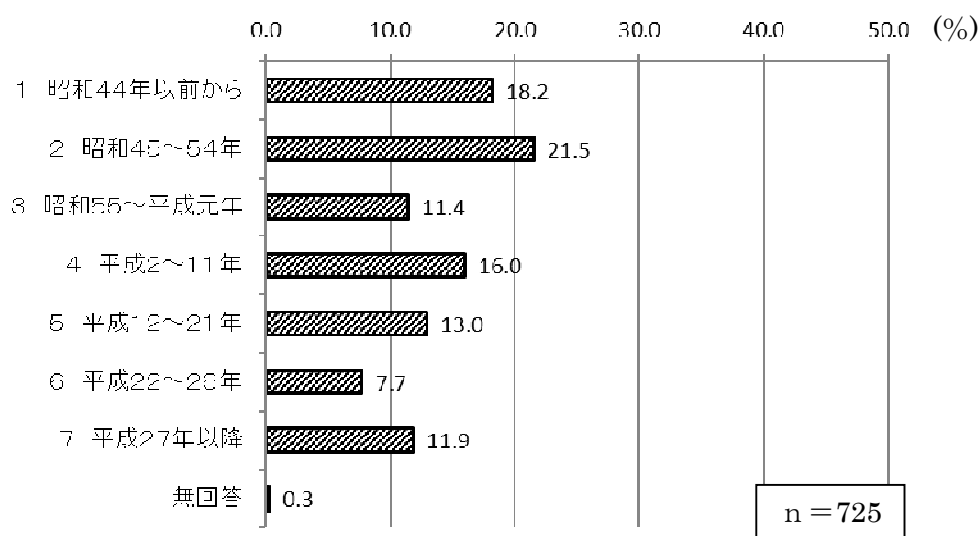


【現状の地区別の人口構成に近似した回答】

○回答者を地区別にみると、各地区において、向日市現状（H31）に近い回答が得られています。

問4 あなたはいつ頃から向日市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 昭和44年以前から	5 平成12～21年
2 昭和45～54年	6 平成22～26年
3 昭和55～平成元年	7 平成27年以降
4 平成2～11年	

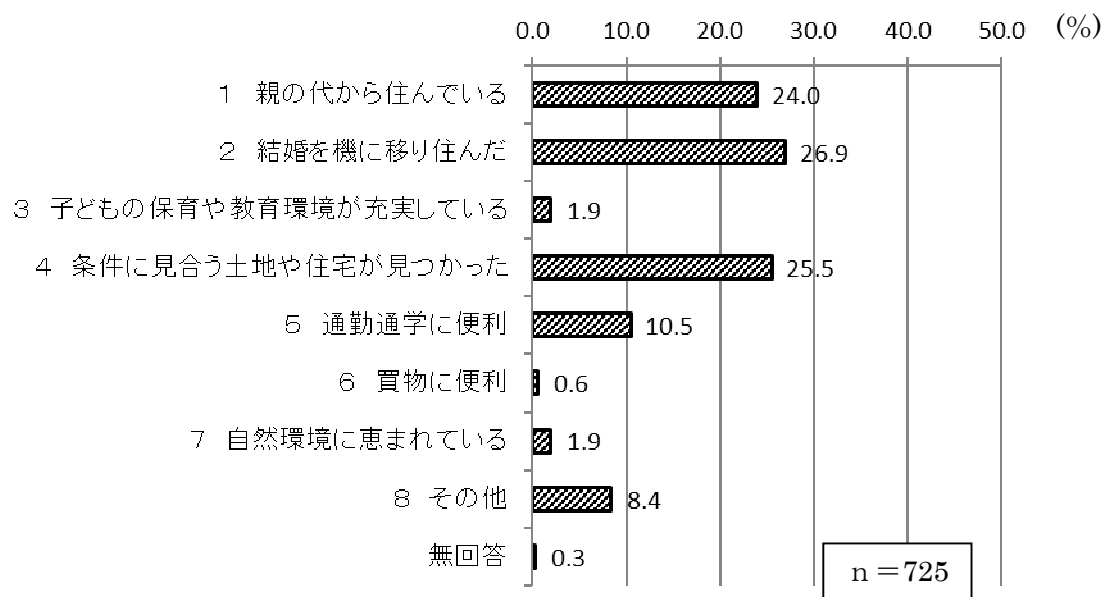


【おおよそ30年以上居住する回答者が半数】

○平成元年以前（30年以前）から居住する回答者が51.2%と過半数を占めています。居住歴が5年未満（平成27年以降）からの回答も11.9%得られています。

問5 お住まいを向日市に決めたのはなぜですか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

- 1 親の代から住んでいる
- 2 結婚を機に移り住んだ
- 3 子どもの保育や教育環境が充実している
- 4 条件に見合う土地や住宅が見つかった
- 5 通勤通学に便利
- 6 買物に便利
- 7 自然環境に恵まれている
- 8 その他（具体的に



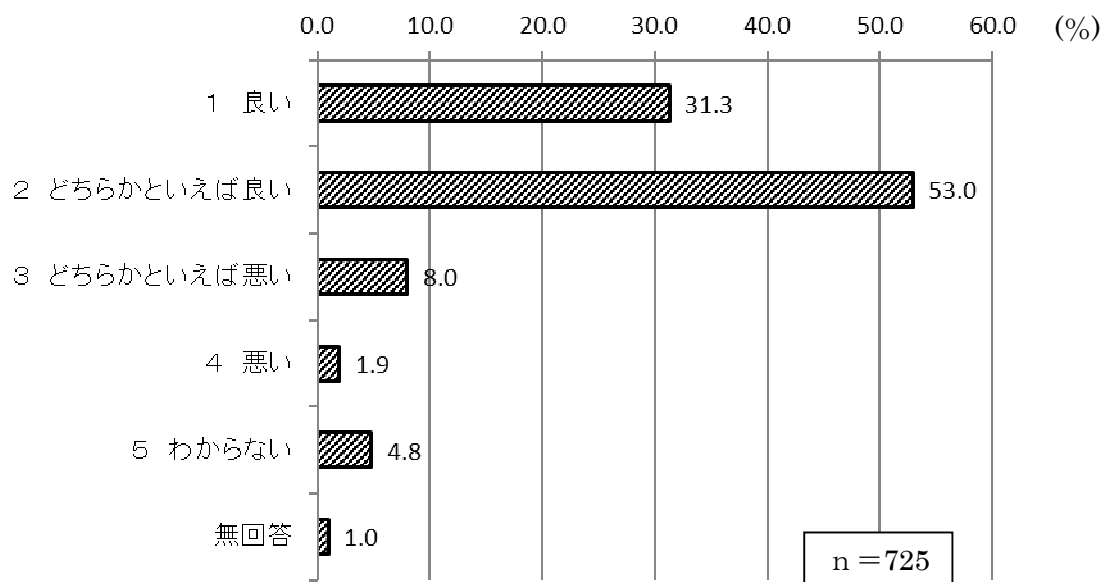
【結婚、住宅・用地の確保などが居住の契機に】

○居住地を向日市に決めた理由としては、「結婚を機に移り住んだ」が26.9%と多く、以下、「条件に見合う土地や住宅が見つかった」「親の代から住んでいる」「通勤通学に便利」が続いています。

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 あなたは向日市の住み心地について、どう思いますか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

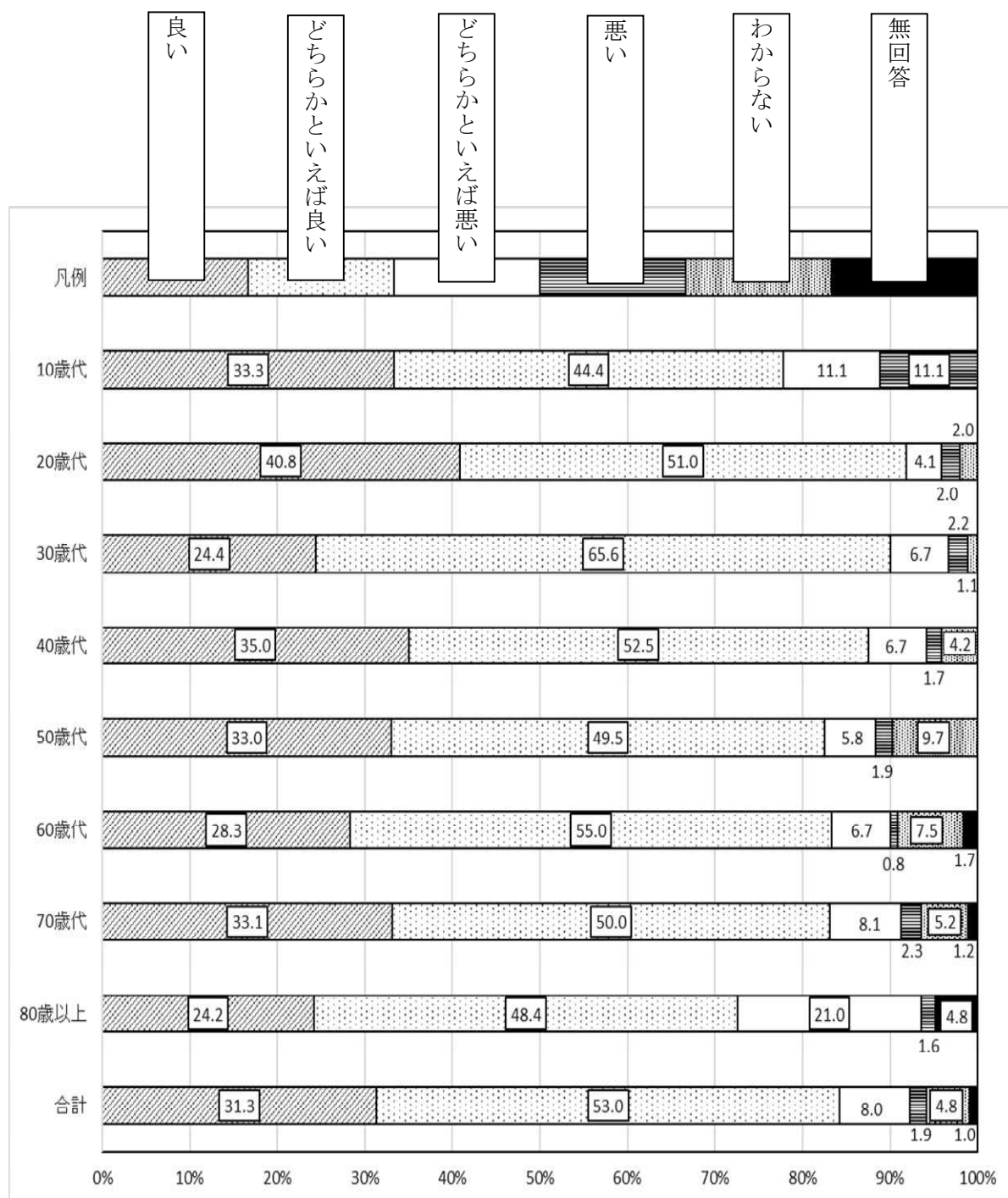
- | | |
|--------------|---------|
| 1 良い | 4 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば悪い | |



【住みよいと評価する意見が8割程度】

- 向日市の住み心地については、「良い」が31.3%、「どちらかといえば良い」が53.0%で、合わせて84.3%の市民が向日市を住み心地の良いまちだと評価しています。
- 「悪い」と評価する意見は1.9%、「どちらかといえば悪い」も8.0%にとどまっています。

【年代別集計】

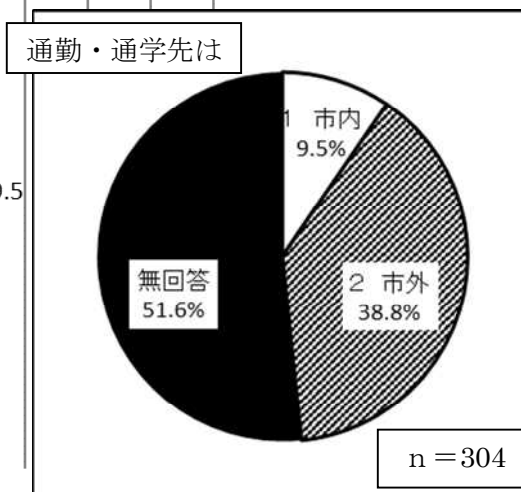
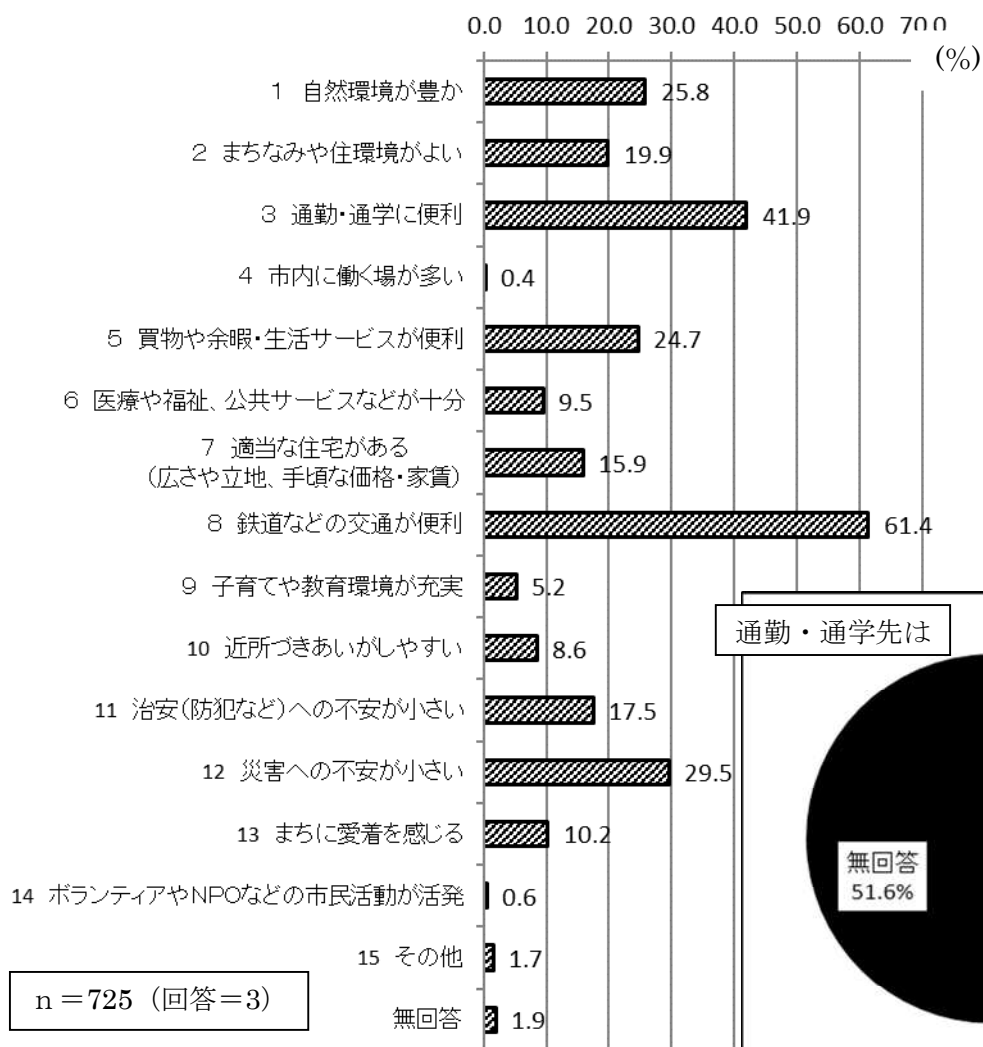


【住みよいと評価する意見が8割程度】

- 年代別にみると、「良い」と評価する意見は20歳代で40.8%と最も多くなっています。
- 「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると、80歳以上を除く全ての年代において8割程度が向日市の住み心地を良いと評価しています。

問7 向日市に住んでいて、良いと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境が豊か	
2 まちなみや住環境がよい	
3 通勤・通学に便利（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場が多い	
5 買物や余暇・生活サービスが便利	
6 医療や福祉、公共サービスなどが十分	
7 適当な住宅がある（広さや立地、手頃な価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が便利	
9 子育てや教育環境が充実	
10 近所づきあいがしやすい	
11 治安（防犯など）への不安が小さい	
12 災害への不安が小さい	
13 まちに愛着を感じる	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が活発	
15 その他（具体的に	



【良い点は利便性】

- 住んでいて良い点としては、「鉄道などの交通が便利」が61.4%と突出して多く選択され、「通勤・通学に便利」が41.9%で続くなど、利便性を評価する意見が上位となっています。
- 以下、「災害への不安が小さい」(29.5%)、「自然環境が豊か」(25.8%)がそれぞれ3割程度の意見を集めています。

【年代別集計】

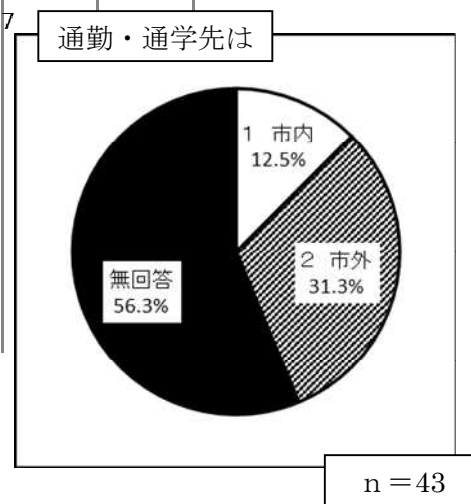
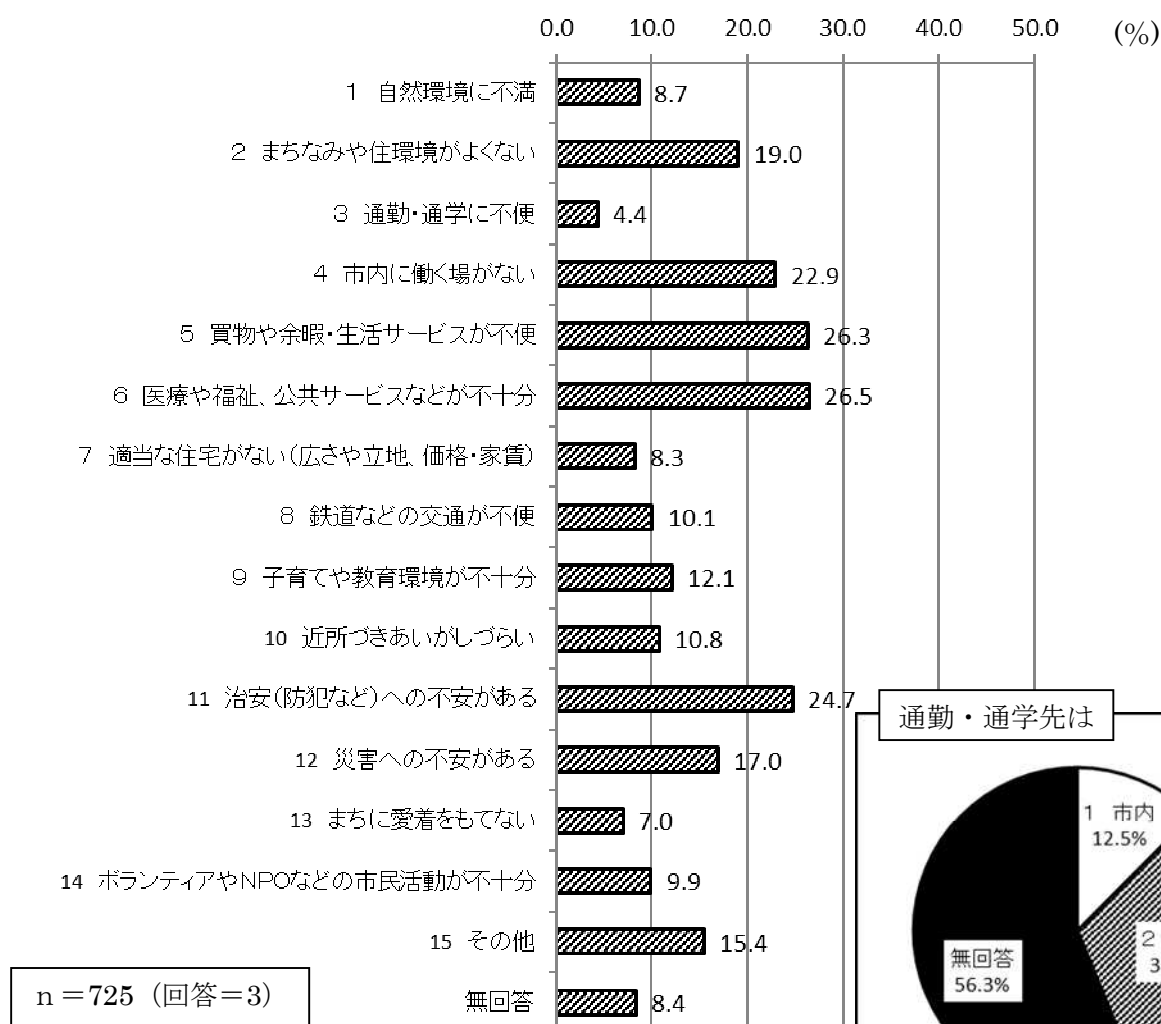
	第1位	第2位	第3位
10 歳代	鉄道などの交通が便利 66.7%	通勤・通学に便利 55.6%	自然環境が豊か 22.2%
20 歳代	鉄道などの交通が便利 55.1%	通勤・通学に便利 44.9%	買い物や余暇・生活サービスが便利 36.7%
30 歳代	鉄道などの交通が便利 68.9%	通勤・通学に便利 52.2%	買い物や余暇・生活サービスが便利 30.0%
40 歳代	鉄道などの交通が便利 60.8%	通勤・通学に便利 47.5%	買い物や余暇・生活サービスが便利 28.3%
50 歳代	鉄道などの交通が便利 69.9%	通勤・通学に便利 55.3%	まちなみや住環境が良い 23.3%
60 歳代	鉄道などの交通が便利 57.5%	災害への不安が小さい 36.7%	通勤・通学に便利 35.8%
70 歳代	鉄道などの交通が便利 57.6%	災害への不安が小さい 43.0%	自然環境が豊か 35.5%
80 歳以上	鉄道などの交通が便利 59.7%	災害への不安が小さい 45.2%	通勤・通学に便利 35.5%

【全ての年代で「鉄道などの利便性」が第1位】

- 年代別にみると、「鉄道などの交通が便利」が全ての年代で第1位となっています。
- 10～50歳代で「通勤・通学に便利」が第2位、60～80歳以上では「災害への不安が小さい」が第2位になっているほか、20～40歳代で「買い物や余暇・生活サービスが便利」が第3位、10歳代及び70歳代で「自然環境が豊か」が第3位、50歳代で「まちなみや住環境が良い」が第3位となっています。

問8 向日市に住んでいて、良くないと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境に不満	
2 まちなみや住環境が良くない	
3 通勤・通学に不便（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場がない	
5 買物や余暇・生活サービスが不便	
6 医療や福祉、公共サービスなどが不十分	
7 適当な住宅がない（広さや立地、価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が不便	
9 子育てや教育環境が不十分	
10 近所づきあいがしづらい	
11 治安（防犯など）への不安がある	
12 災害への不安がある	
13 まちに愛着をもてない	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分	
15 その他（具体的に	



【「医療・福祉・公共サービス」「買物や余暇・生活サービス」「治安」「働く場」が上位】

○住んでいて良くない点としては、「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」が 26.5%と最も多くの意見を集め、以下「買物や余暇・生活サービスが不便」(26.3%)、「治安(防犯など)への不安がある」(24.7%)、「市内に働く場がない」(22.9%)の3項目が2割以上となっています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 44.4%	ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分 33.3%	治安(防犯など)への不安がある 22.2%
			災害への不安がある 22.2%

	第1位	第2位
20 歳代	市内に働く場がない 26.5%	治安(防犯など)への不安がある 26.5%
		買物や余暇・生活サービスが不便 18.4%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	治安(防犯など)への不安がある 40.0%	子育てや教育環境が不十分 31.1%	その他 24.4%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 29.2%	治安(防犯など)への不安がある 29.2%	子育てや教育環境が不十分 23.3%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 25.2%	市内に働く場がない 23.3%
			治安(防犯など)への不安がある 23.3%

	第1位	第2位
60 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 35.0%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 35.0%
		災害への不安がある 23.3%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 26.7%	市内に働く場がない 26.2%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 23.3%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.3%	買物や余暇・生活サービスが不便 30.6%	市内に働く場がない 27.4%

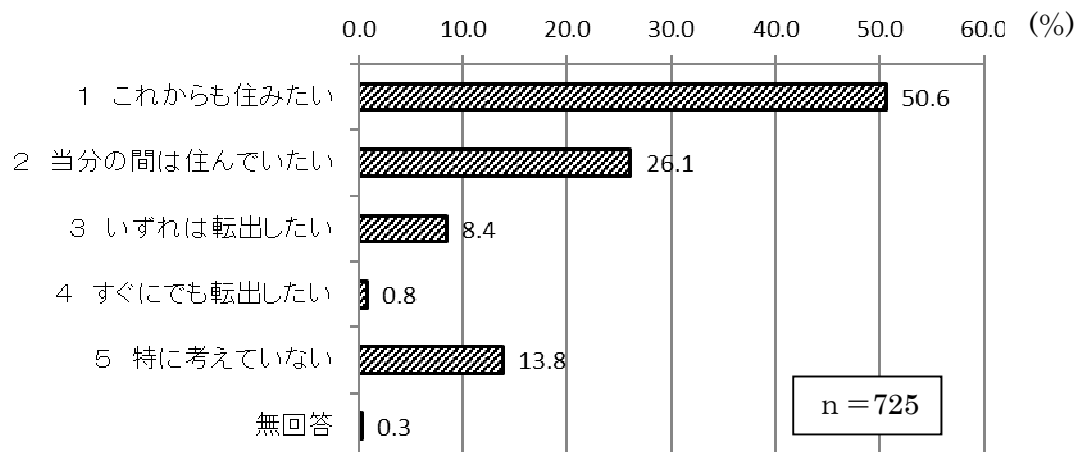
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○順位は異なりますが、全ての年代で「買物や余暇・生活サービスが不便」「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」「治安(防犯など)への不安がある」の3項目が上位を占めています。

○20 歳代では「市内に働く場がない」と「治安(防犯など)への不安がある」が同率一位となっています。

問9 あなたはこれからも向日市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

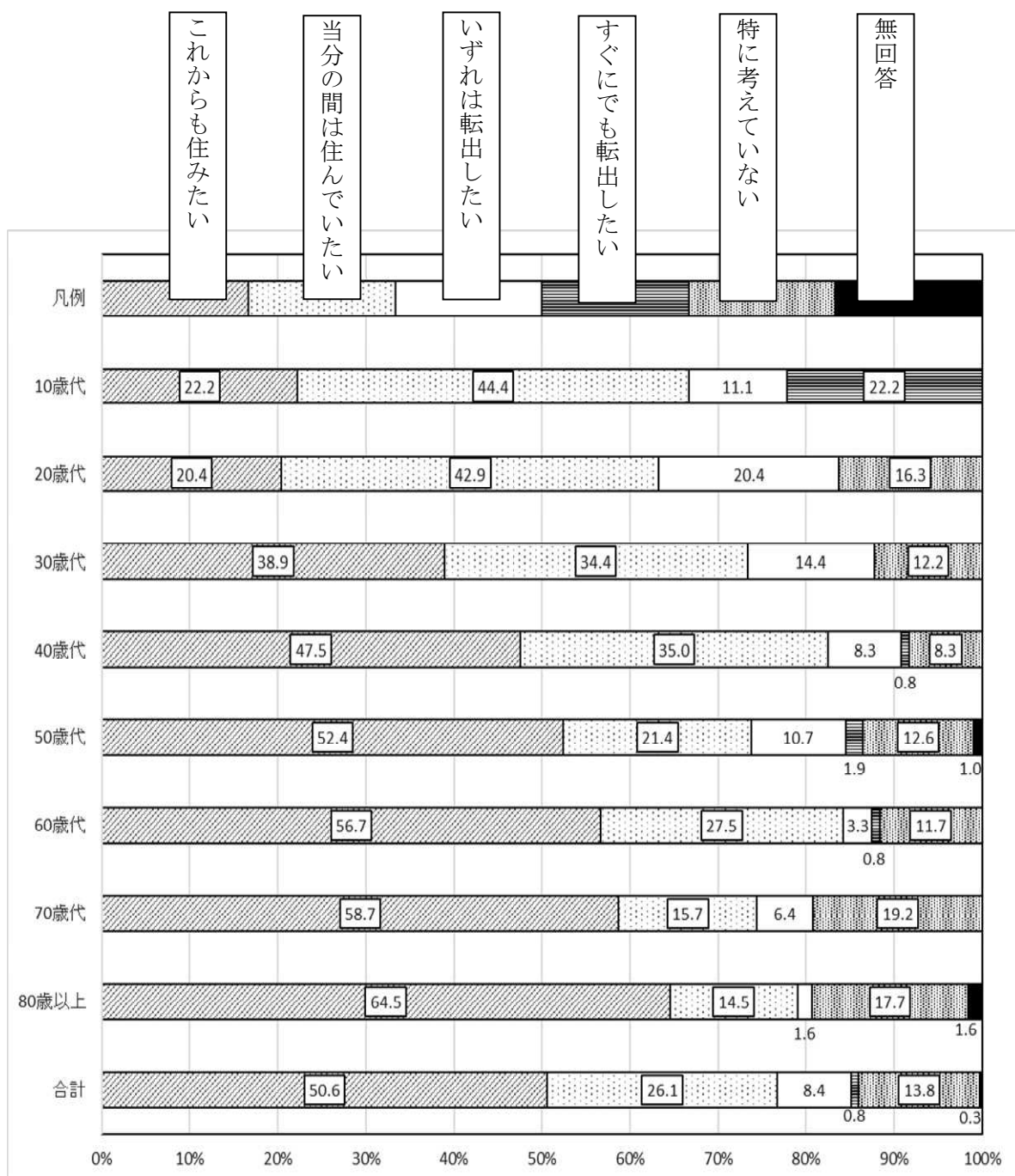
- 1 これからも住みたい
- 2 当分の間は住んでいたい
- 3 いずれは転出したい
- 4 すぐにでも転出したい
- 5 特に考えていない



【8割が継続的な定住意向】

○向日市に対する定住意向は「これからも住みたい」(50.6%)と「当分の間は住んでいたい」(26.1%)を合わせて、76.7%が継続的な定住意向を示しています。「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」は併せて9.2%にとどまっています。

【年代別集計】

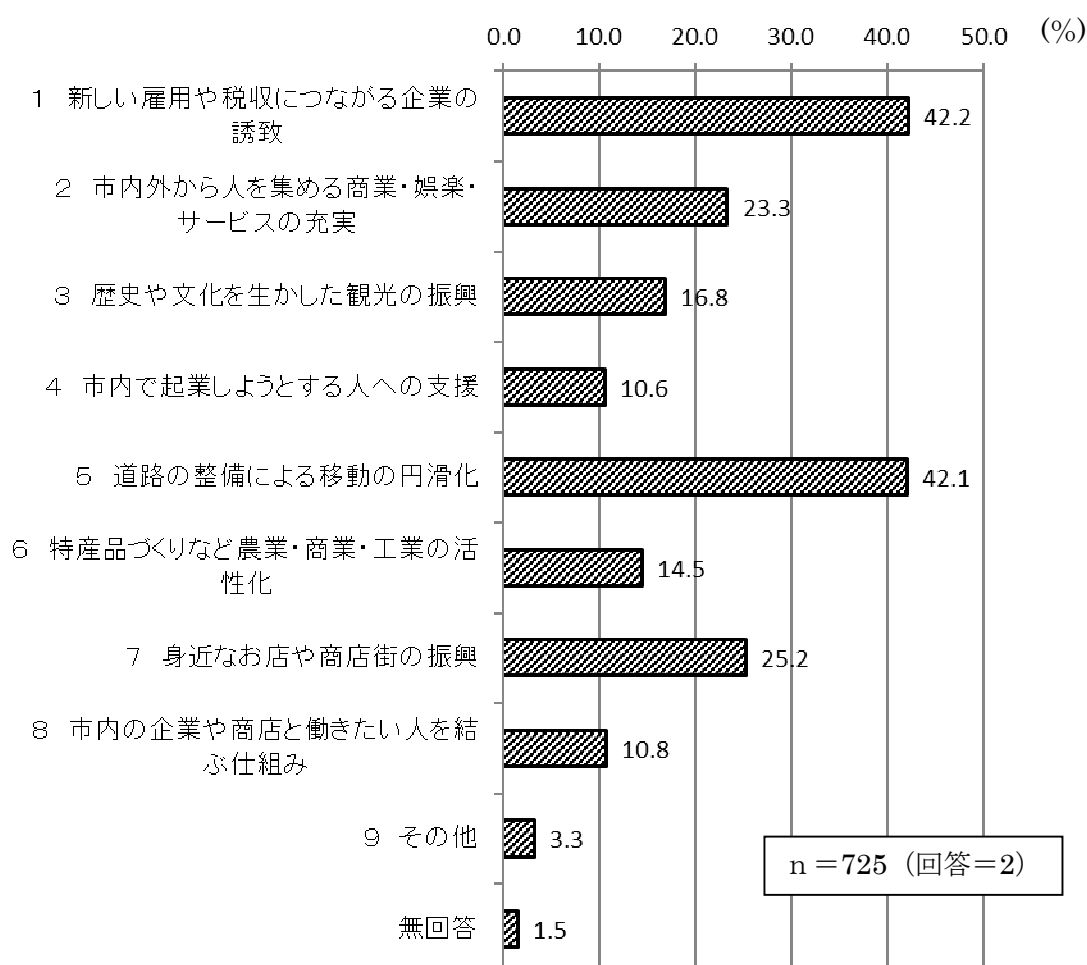


【ほぼすべての世代で7割以上が定住意向を示す】

- 年代別にみると、「これから住みたい」「当分の間は住んでいたい」を合わせた定住意向は10～20歳代を除くすべての世代で7割以上となっています。
- 最も低い20歳代でも定住意向は63.3%に達しており、「いずれは転出したい」「すぐにも転出したい」という転出意向も20.4%にとどまっています。

問10 雇用やまちの経済を活発にしていくためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に重視するものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

1	新しい雇用や税収につながる企業の誘致	
2	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実	
3	歴史や文化を生かした観光の振興	
4	市内で起業しようとする人への支援	
5	道路の整備による移動の円滑化	
6	特産品づくりなど農業・商業・工業の活性化	
7	身近なお店や商店街の振興	
8	市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み	
9	その他（具体的に	）



【「企業誘致」「移動の円滑化」が上位項目】

○雇用や経済の活性化のためには、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」(42.2%)、「道路の整備による移動の円滑化」(42.1%) それぞれ4割以上の回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 55.6%	身近なお店や商店街の振興 44.4%	市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み 22.2%

	第 1 位	第 2 位
20 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 36.7%
		道路の整備による移動の円滑化 32.7%

	第 1 位	第 2 位
30 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 38.9%	道路の整備による移動の円滑化 38.9%
		市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 36.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 47.5%	道路の整備による移動の円滑化 35.8%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 32.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	道路の整備による移動の円滑化 48.5%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 39.8%	身近なお店や商店街の振興 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 42.5%	道路の整備による移動の円滑化 41.7%	身近なお店や商店街の振興 30.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	道路の整備による移動の円滑化 45.9%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 39.7%	身近なお店や商店街の振興 37.1%

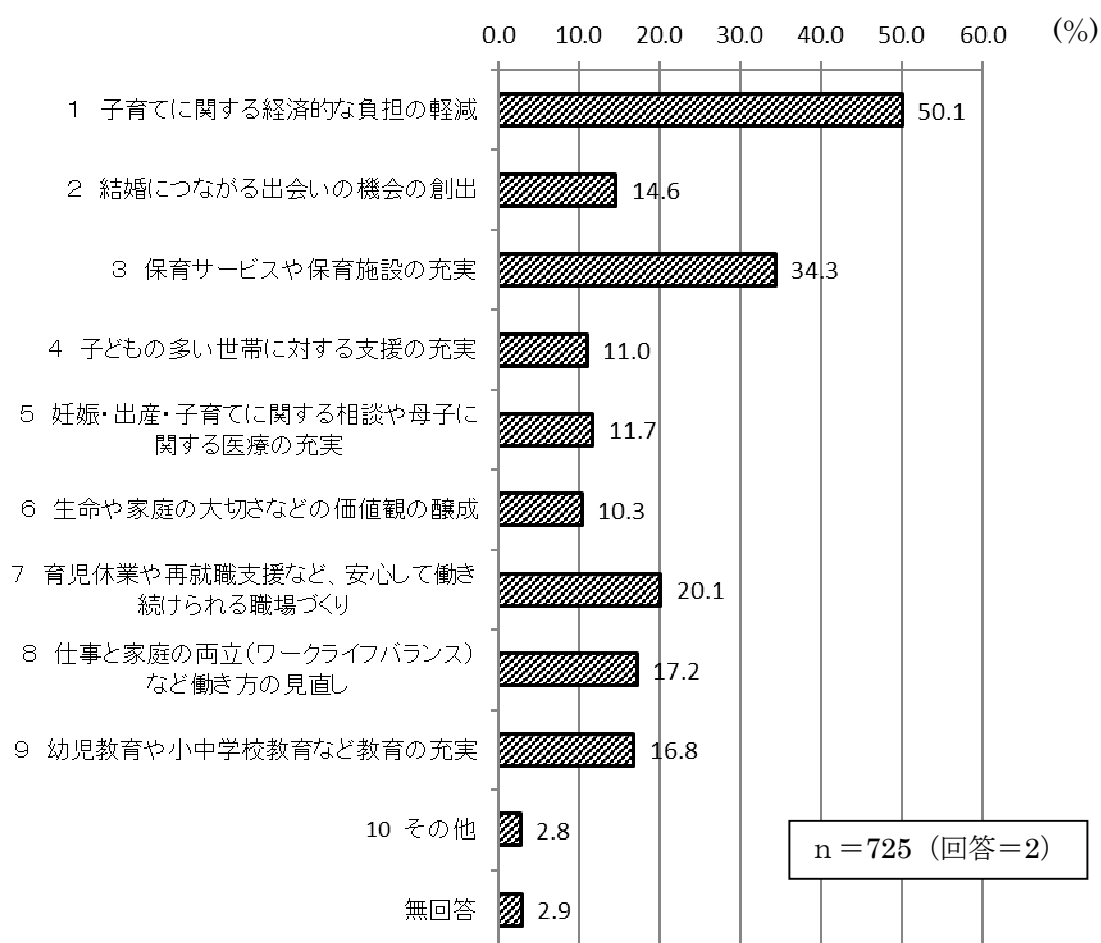
	第 1 位	第 2 位
80 歳以上	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 50.0%	道路の整備による移動の円滑化 50.0%
		身近なお店や商店街の振興 27.4%

【各年代とも上位項目は同様の傾向も、第 1 位項目では差異】

○年代別にみると、各年代とも全体で上位の「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」「道路の整備による移動の円滑化」の 3 項目に、幅広い年代で選ばれた「身近なお店や商店街の振興」を加えた項目が上位項目となっています。

問 1 1 少子化に歯止めをかけるため、向日市では特にどんな取組みに力を入れるべきだとお考えですか。特に大切と思われるものを2つ選び、右欄にご記入ください。

- 1 子育てに関する経済的な負担の軽減
- 2 結婚につながる出会いの機会の創出
- 3 保育サービスや保育施設の充実
- 4 子どもの多い世帯に対する支援の充実
- 5 妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実
- 6 生命や家庭の大切さなどの価値観の醸成
- 7 育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり
- 8 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し
- 9 幼児教育や小中学校教育など教育の充実
- 10 その他（具体的に



【子育ての経済的な負担の軽減、保育サービスや環境の向上に多くの回答】

- 少子化対策として力を入れることとしては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」を選択する回答者が多く、50.1%に達しています。
- 「保育サービスや保育施設の充実」(34.3%) など、仕事と育児の両立に関することも多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位		
10 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 44.4%	保育サービスや保育施設の充実 44.4%	妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実 44.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 71.4%	保育サービスや保育施設の充実 38.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 60.0%	保育サービスや保育施設の充実 45.6%	仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 21.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 59.2%	保育サービスや保育施設の充実 28.3%	子どもの多い世帯に対する支援の充実 19.2%
			幼児教育や小中学校教育など教育の充実 19.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 49.5%	保育サービスや保育施設の充実 38.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 20.4%
			仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 20.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 50.0%	保育サービスや保育施設の充実 35.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 26.7%

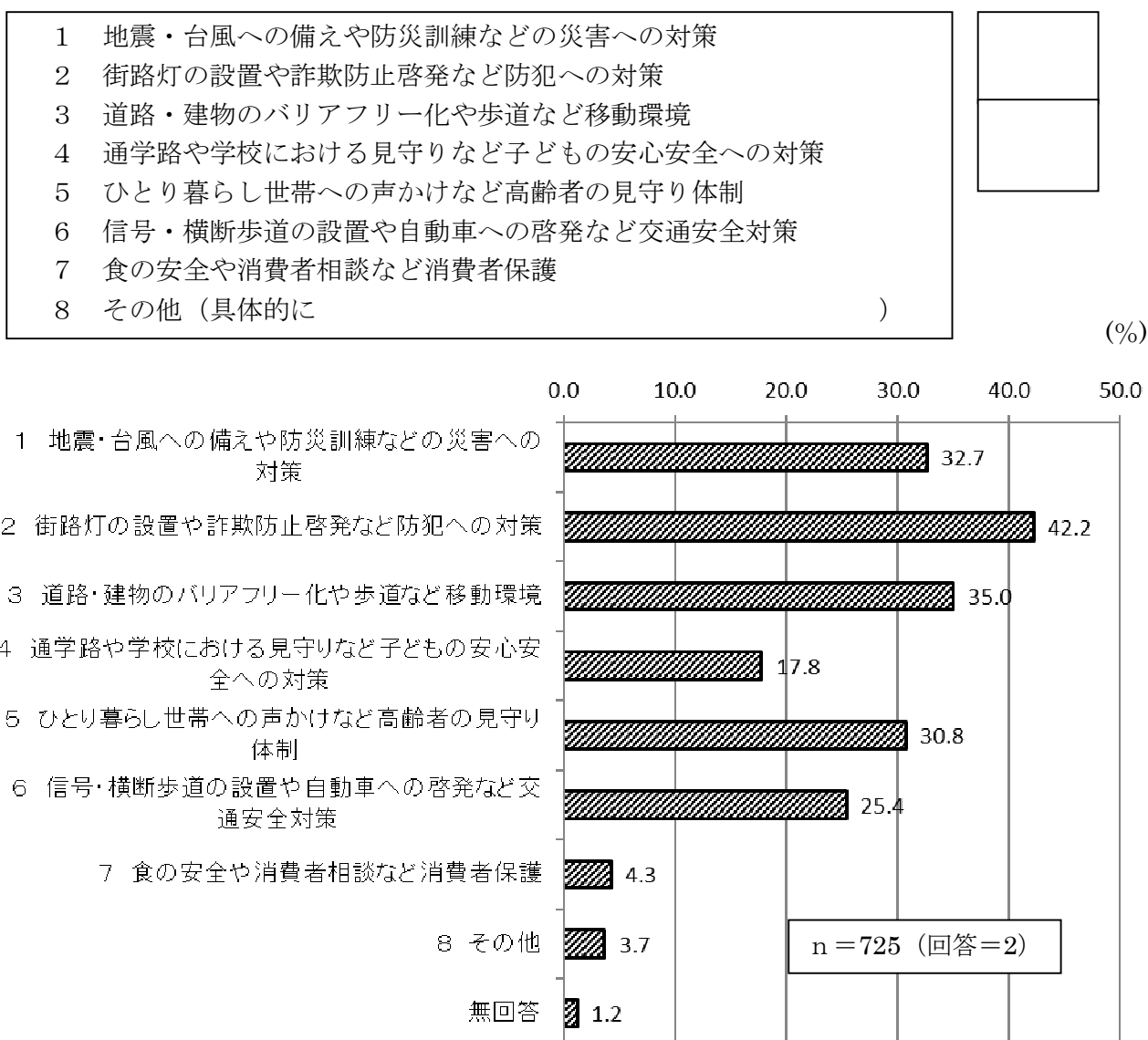
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 36.0%	保育サービスや保育施設の充実 30.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 23.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	子育てに関する経済的な負担の軽減 41.9%	保育サービスや保育施設の充実 24.2%	結婚につながる出会いの機会の創出 21.0%

【年代別にみても、概ね全体と同様の傾向】

○年代別にみると、全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第 1 位、「保育サービスや保育施設の充実」が第 2 位となっており、これに続く「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」が 20、50～70 歳代で第 3 位となっており、全体と年代別で同様の傾向を示しています。

問 1 2 あなたが暮らしている地域の安心・安全について、不安に思うことはありますか。
特に不安に思うことを2つまで選び、右欄にご記入ください。



【多様な分野への関心】

○「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」の42.2%をはじめ、「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」(35.0%)、「地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策」(32.7%)、「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」(30.8%)の4項目が3割以上となっており、安全・安心に関する多様な分野への関心を示す結果となりました。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 44.4%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 33.3%	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 22.2% 通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策 22.2% ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 22.2% 信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策 22.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 44.9%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 40.8%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 30.6%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 41.1%	通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策 40.0%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 38.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 45.8%	信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策 34.2%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 32.5% 道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 32.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 49.5%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 43.7%	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 28.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 41.7%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 41.7%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 37.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 39.0%	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 28.2%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 33.7%

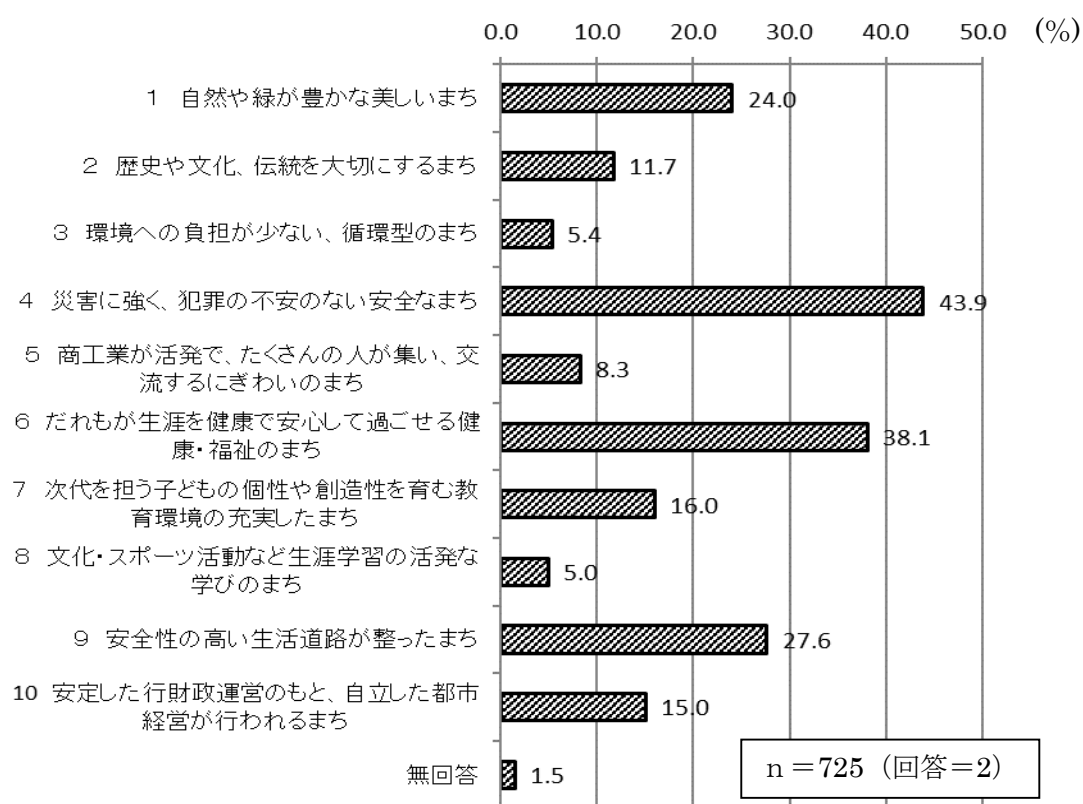
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 56.5%	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 35.5%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 32.3%

【ライフステージに応じて関心を持つ安心・安全の分野も変化】

- 年代別にみると、10～70 歳代で「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」が第 1 位となっております。
- 「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者見守り体制」が 70 歳代で第 2 位、80 歳以上で第 1 位となっており、年代（ライフステージ）によって関心をもつ分野が変化しています。

問 1 3 今後、向日市がどんなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 自然や緑が豊かな美しいまち
- 2 歴史や文化、伝統を大切にするまち
- 3 環境への負担が少ない、循環型のまち
- 4 災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち
- 5 商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち
- 6 だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち
- 7 次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち
- 8 文化・スポーツ活動など生涯学習の活発な学びのまち
- 9 安全性の高い生活道路が整ったまち
- 10 安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち



【「安心」「安全」「健康」に多くの回答】

○上位の回答としては、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」(43.9%)が第1位で、「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」(38.1%)、「安全性の高い生活道路が整ったまち」(27.6%)と続いており、誰にとっても身近な事柄である安心・安全・健康に関する項目が多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位		第 3 位
10 歳代	自然や緑が豊かな美しいまち 33.3%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 33.3%	歴史や文化、伝統を大切にす るまち 22.2%
			商工業が活発で、たぐさんの人 が集い、交流するにぎわいのま ち 22.2%
			安定した行財政運営のもと、自 立した都市経営が行われるま ち 22.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 44.9%	安全性の高い生活道路が 整ったまち 30.6%	次代を担う子どもの個性 や創造性を育む教育環境 の充実したまち 28.6%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 43.3%	次代を担う子どもの個性 や創造性を育む教育環境 の充実したまち 42.2%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 26.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 41.7%	安全性の高い生活道路が 整ったまち 40.0%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 33.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 42.7%	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 39.8%	自然や緑が豊かな美しい まち 29.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 43.3%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 40.0%	自然や緑が豊かな美しい まち 25.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 48.8%	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 44.8%	自然や緑が豊かな美しい まち 25.6%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	災害に強く、犯罪の不安の ない安全なまち 54.8%	だれもが生涯を健康で安 心して過ごせる健康・福祉 のまち 41.9%	安全性の高い生活道路が 整ったまち 30.6%

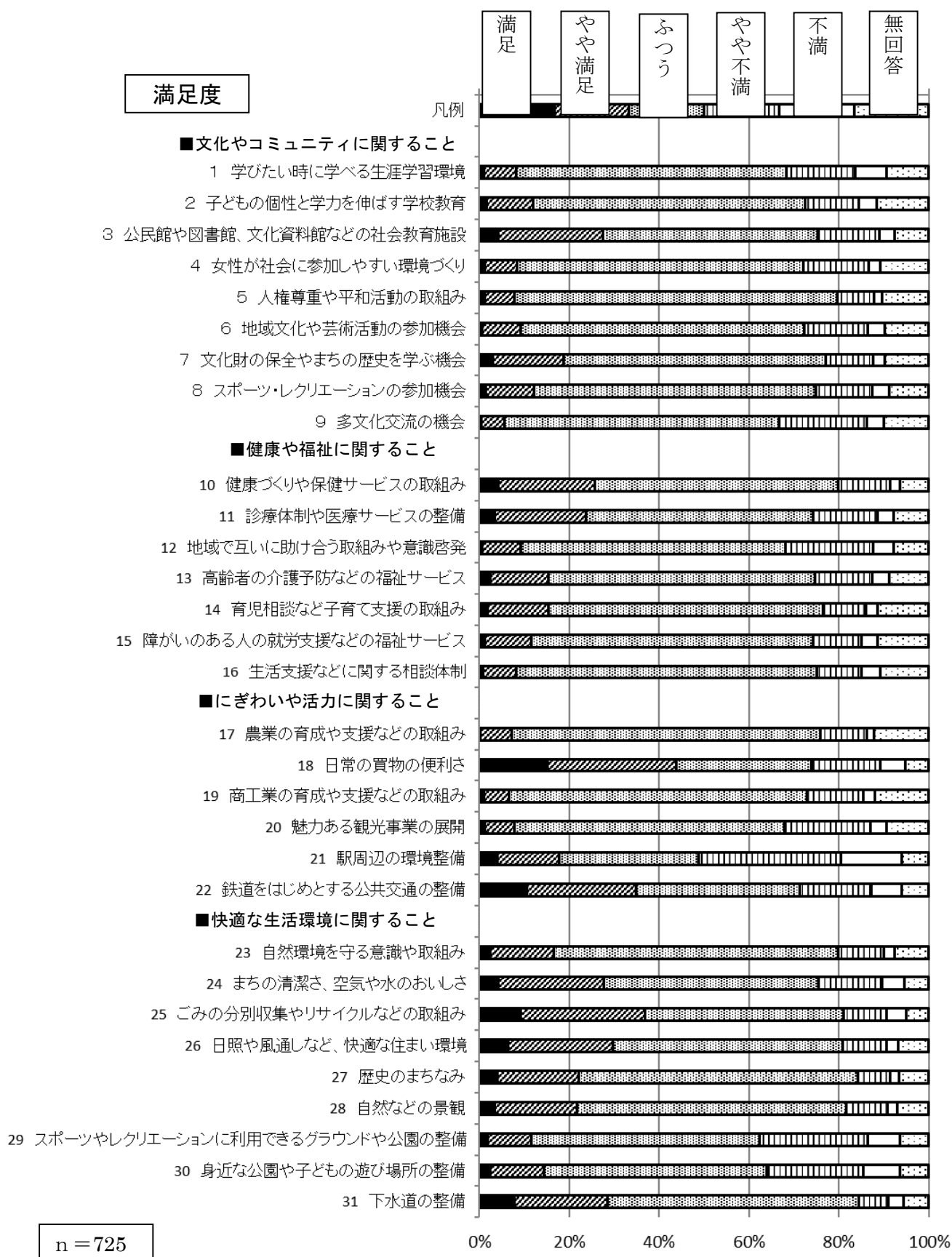
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

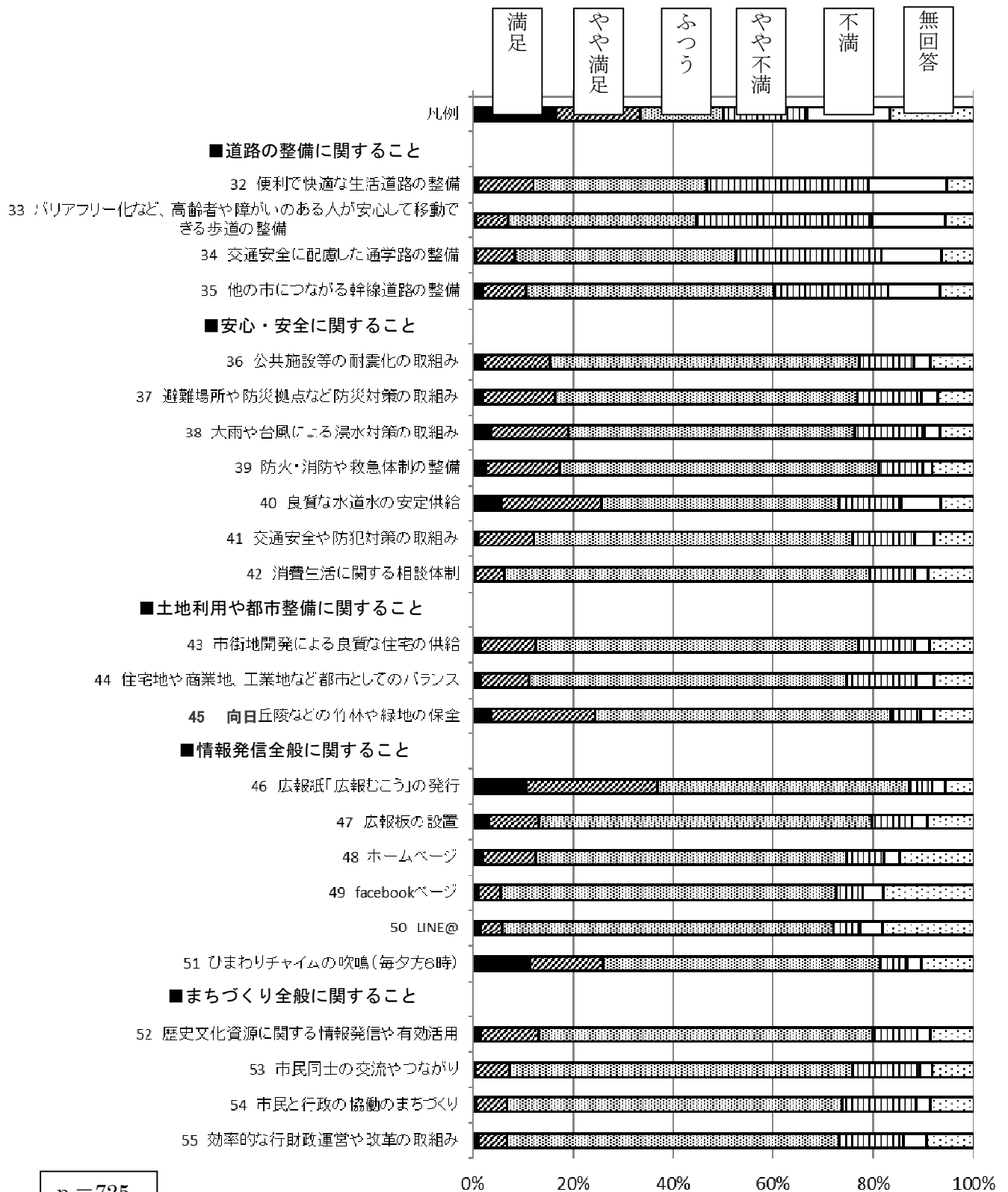
○年代別にみると、順位は異なりますが、全ての年代で「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」の2項目が上位を占めています。

○20、30 歳代では「次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち」が、10、50～70 歳では「自然や緑が豊かな美しいまち」が上位に入っており、年代によって関心をもつ分野が変化しています。

■ 施策の満足度・重要度について

問 1 4 あなたは、まちの住みごちや行政の施策について、日ごろどのように感じておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで○印をつけてください。





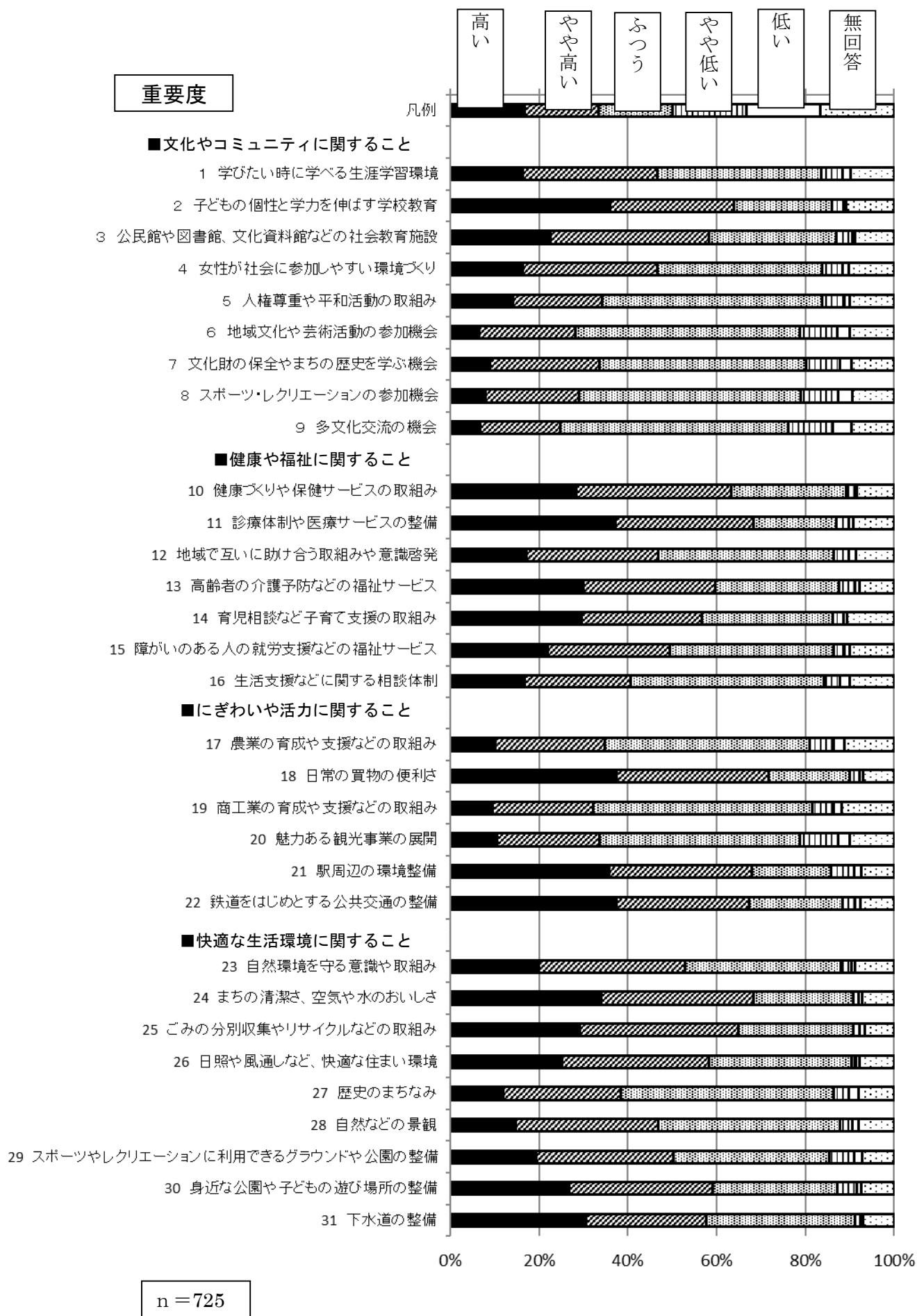
【満足度上位】

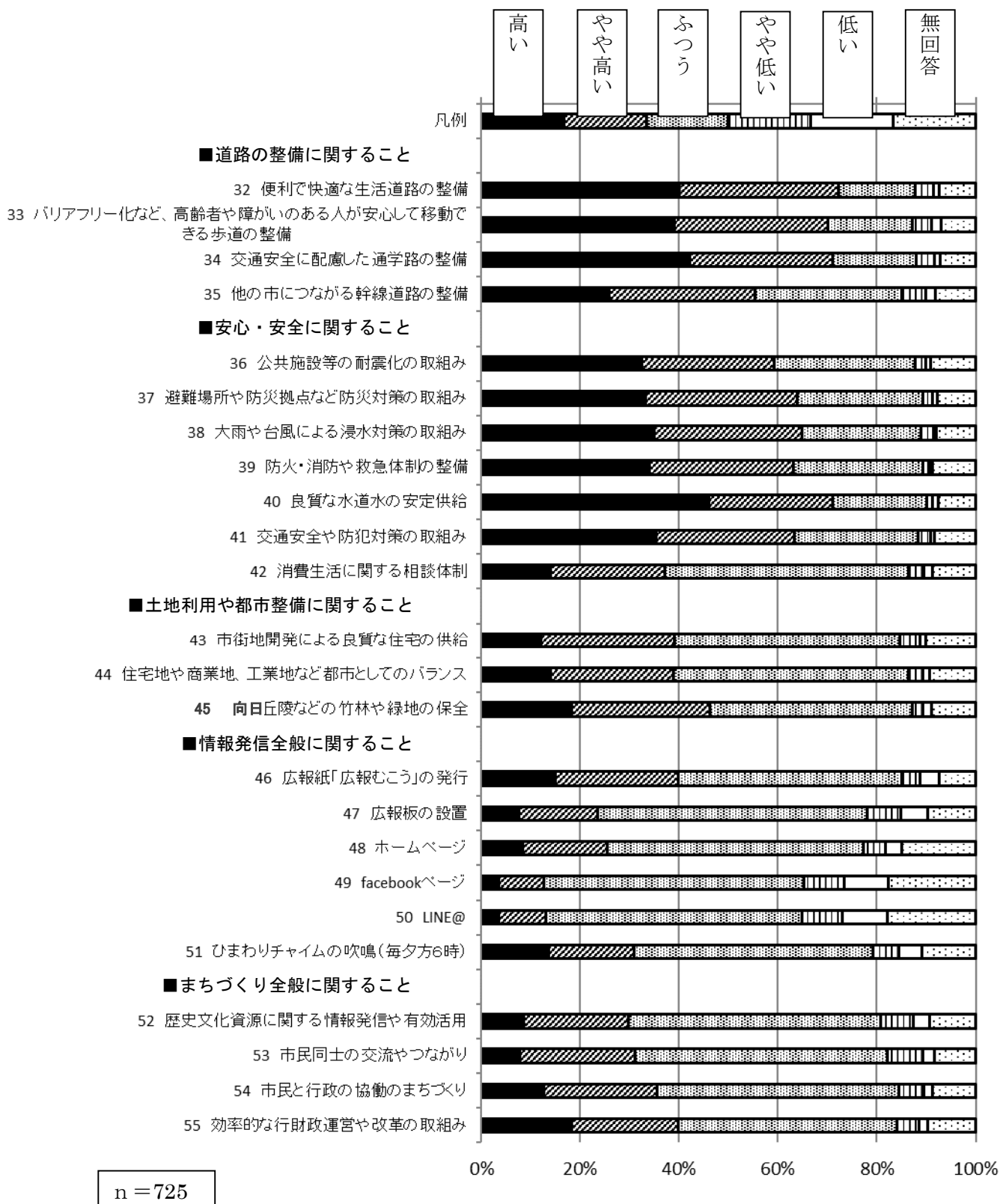
選択項目	係数ポイント
46 広報紙「広報むこう」	3.40
18 日常の買物の便利さ	3.34
51 ひまわりチャイム	3.29
25 ごみ分別・リサイクル	3.29
31 下水道の整備	3.24

【満足度下位】

選択項目	係数ポイント
33 安心して移動できる歩道整備	2.40
32 便利で快適な生活道路	2.47
34 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53
21 駅周辺の環境整備	2.61
35 他市につながる幹線道路の整備	2.67

※)「係数ポイント」は「満足」を5点～「不満」を1点としたものの平均値。





【重要度上位】

選択項目	係数ポイント
40 良質な水道水の安定供給	4. 2 3
34 交通安全に配慮した通学路の整備	4. 1 5
32 便利で快適な生活道路	4. 1 5
18 日常の買物の便利さ	4. 1 3
11 診療・医療サービスの整備	4. 1 1

【重要度下位】

選択項目	係数ポイント
50 LINE@	2. 8 8
49 facebook ページ	2. 8 8
9 多文化交流の機会	3. 1 4
47 広報板の設置	3. 1 5
6 地域文化や芸術活動の参加機会	3. 2 3

※)「係数ポイント」は「高い」を5点～「低い」を1点としたものの平均値。

■文化やコミュニティに関すること

	満足度	重要度
1 学びたい時に学べる生涯学習環境	2.78	3.61
2 子どもの個性と学力を伸ばす学校教育	2.93	4.08
3 公民館や図書館、文化資料館などの社会教育施設	3.12	3.84
4 女性が社会に参加しやすい環境づくり	2.88	3.62
5 人権尊重や平和活動の取組み	2.97	3.45
6 地域文化や芸術活動の参加機会	2.87	3.23
7 文化財の保全やまちの歴史を学ぶ機会	3.06	3.33
8 スポーツ・レクリエーションの参加機会	2.93	3.24
9 多文化交流の機会	2.77	3.14

■健康や福祉に関すること

	満足度	重要度
10 健康づくりや保健サービスの取組み	3.15	3.97
11 診療体制や医療サービスの整備	3.06	4.11
12 地域で互いに助け合う取組みや意識啓発	2.79	3.63
13 高齢者の介護予防などの福祉サービス	2.97	3.91
14 育児相談など子育て支援の取組み	3.02	3.92
15 障がいのある人の就労支援などの福祉サービス	2.94	3.74
16 生活支援などに関する相談体制	2.90	3.55

■にぎわいや活力に関すること

	満足度	重要度
17 農業の育成や支援などの取組み	2.93	3.39
18 日常の買物の便利さ	3.34	4.13
19 商工業の育成や支援などの取組み	2.88	3.38
20 魅力ある観光事業の展開	2.81	3.33
21 駅周辺環境整備	2.61	4.03
22 鉄道をはじめとする公共交通の整備	3.17	4.08

■快適な生活環境に関すること

	満足度	重要度
23 自然環境を守る意識や取組み	3.04	3.75
24 まちの清潔さ、空気や水のおいしさ	3.08	4.07
25 ごみの分別収集やリサイクルなどの取組み	3.29	3.96
26 日照や風通しなど、快適な住まい環境	3.22	3.87
27 歴史のまちなみ	3.16	3.46
28 自然などの景観	3.12	3.61
29 スポーツやレクリエーションに利用できるグラウンドや公園の整備	2.73	3.65
30 身近な公園や子どもの遊び場所の整備	2.77	3.86
31 下水道の整備	3.24	3.92

■道路の整備に関すること

	満足度	重要度
32 便利で快適な生活道路の整備	2.47	4.15
33 バリアフリー化など、高齢者や障がいのある人が安心して移動できる歩道の整備	2.40	4.09
34 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53	4.15
35 他の市につながる幹線道路の整備	2.67	3.79

■安心・安全に関すること

	満足度	重要度
36 公共施設等の耐震化の取組み	3.00	3.96
37 避難場所や防災拠点など防災対策の取組み	2.99	4.01
38 大雨や台風による浸水対策の取組み	3.03	4.05
39 防火・消防や救急体制の整備	3.08	4.04
40 良質な水道水の安定供給	3.04	4.23
41 交通安全や防犯対策の取組み	2.93	4.03
42 消費生活に関する相談体制	2.92	3.48

■土地利用や都市整備に関すること

	満足度	重要度
43 市街地開発による良質な住宅の供給	2.97	3.50
44 住宅地や商業地、工業地など都市としてのバランス	2.91	3.52
45 向日丘陵などの竹林や緑地の保全	3.18	3.65

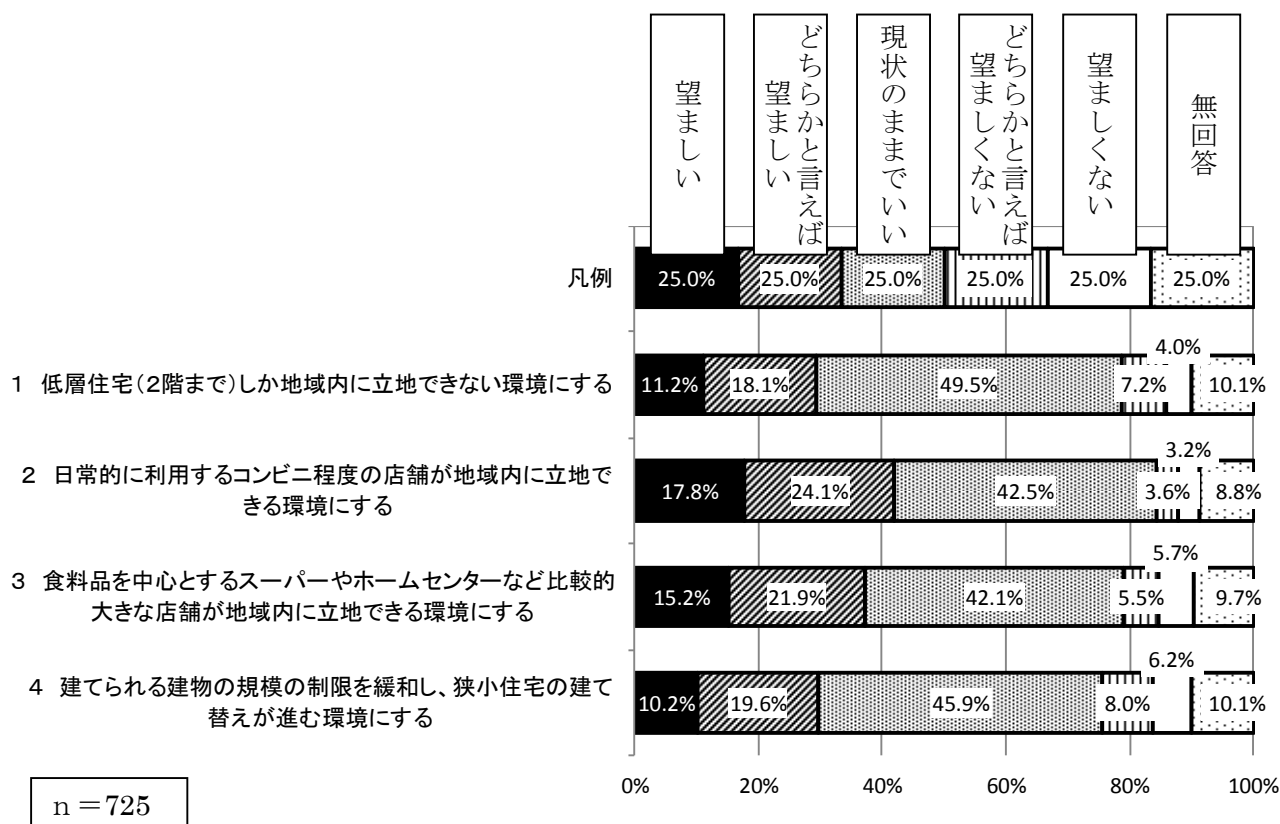
■情報発信全般に関わること

	満足度	重要度
46 広報紙「広報むこう」の発行	3.40	3.47
47 広報板の設置	3.03	3.15
48 ホームページ	3.01	3.27
49 facebookページ	2.91	2.88
50 LINE@	2.92	2.88
51 ひまわりチャイムの吹鳴(毎夕方6時)	3.29	3.34

■まちづくり全般に関わること

	満足度	重要度
52 歴史文化資源に関する情報発信や有効活用	3.01	3.28
53 市民同士の交流やつながり	2.89	3.30
54 市民と行政の協働のまちづくり	2.86	3.43
55 効率的な行財政運営や改革の取組み	2.84	3.56

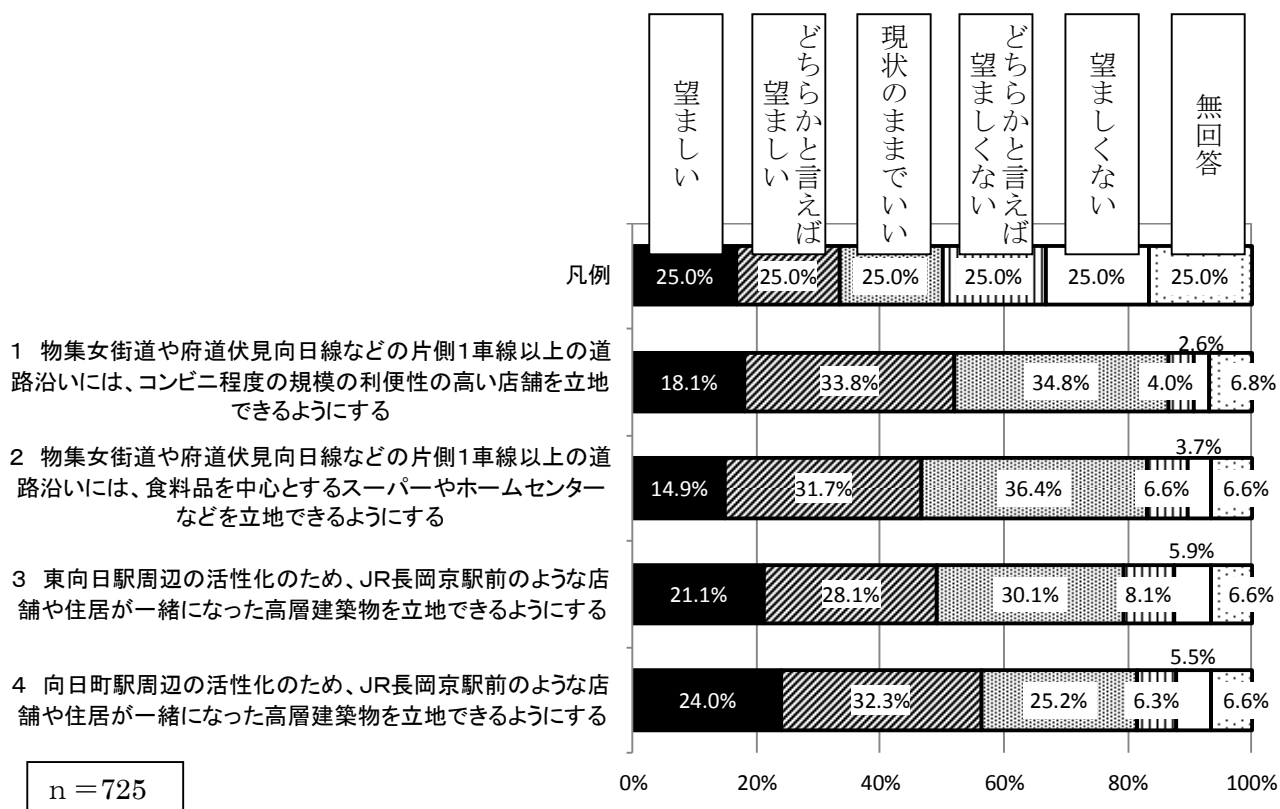
問15 お住いの地域（^{こあだ}小字）の土地利用についてお聞きします。地域の住環境としてどのようなことを望まれますか。項目ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。



【「コンビニ程度の店舗が立地できる環境」を望む回答が比較的多い】

○「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「日常的に利用するコンビニ程度の店舗が地域内に立地できる環境にする」(41.9%)が4割を超える回答を集めています。

問16 まちの賑わいを創出するための土地利用について、どのようなことを望まれますか。
項目ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。



【駅周辺の活性化では「向日町駅」を望む回答が多い】

○幹線道路沿いの土地利用について「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「コンビニ程度の規模の利便性の高い店舗を立地できるようにする」(51.9%)が5割を超える回答を集めています。

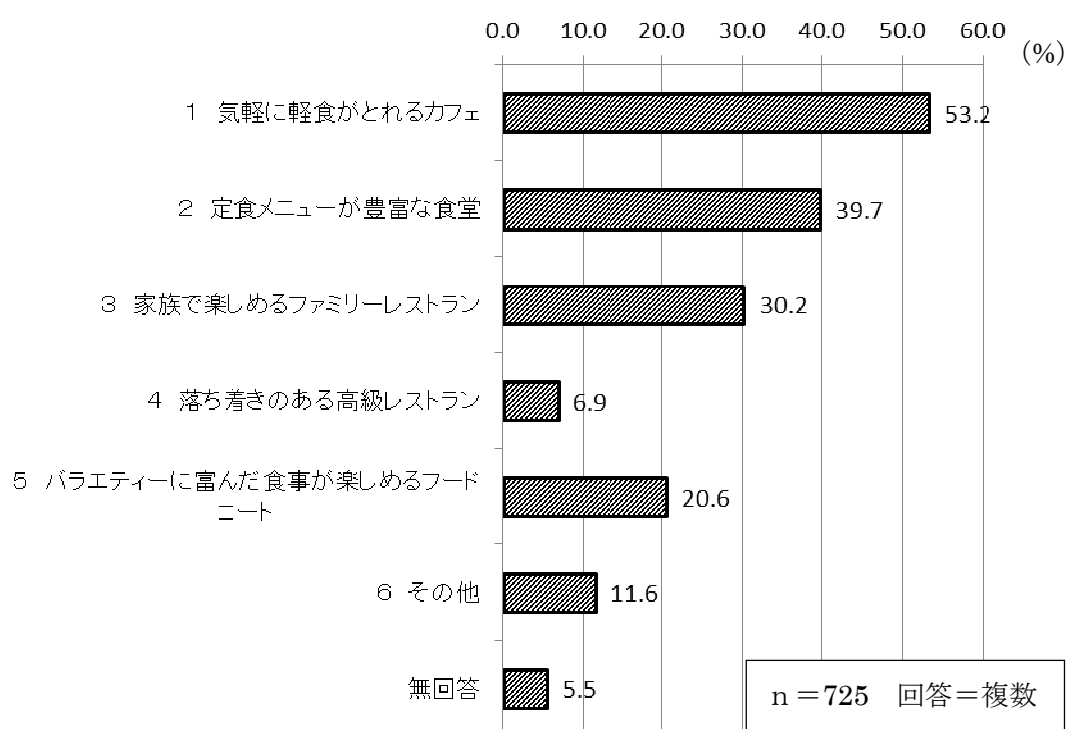
○駅周辺の土地利用について「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「向日町駅周辺の活性化のため、JR長岡京駅前のような店舗や住居が一緒になった高層建築物を立地できるようにする」(56.3%)が5割を超える回答を集めています。

市では、市役所を建て替える事業を進めており、新庁舎の5階にはどなたでも利用できるレストランを計画しています。

そこで、「新庁舎展望レストラン」について、ご意見をお聞かせください。

問17 新庁舎展望レストランに期待する運営形態について、あてはまるものを選び、○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 気軽に軽食がとれるカフェ
- 2 定食メニューが豊富な食堂
- 3 家族で楽しめるファミリーレストラン
- 4 落ち着きのある高級レストラン
- 5 バリエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート
- 6 その他 ()



【気軽に軽食がとれるカフェ、定食メニューに多くの回答】

○期待する運営形態については、「気軽に軽食がとれるカフェ」を選択する回答者が多く、53.2%に達しています。

○「定食メニューが豊富な食堂」(39.7%)なども、多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 66.7%	家族で楽しめるファミリーレストラン 55.6%	バラエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート 44.4%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 59.2%	定食メニューが豊富な食堂 38.8%	バラエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート 26.5%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 56.7%	定食メニューが豊富な食堂 38.9%	家族で楽しめるファミリーレストラン 35.6%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 48.3%	定食メニューが豊富な食堂 42.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 31.7%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	定食メニューが豊富な食堂 45.6%	気軽に軽食がとれるカフェ 44.7%	家族で楽しめるファミリーレストラン 28.2%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 56.7%	定食メニューが豊富な食堂 42.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 27.5%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 57.6%	定食メニューが豊富な食堂 35.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 30.2%

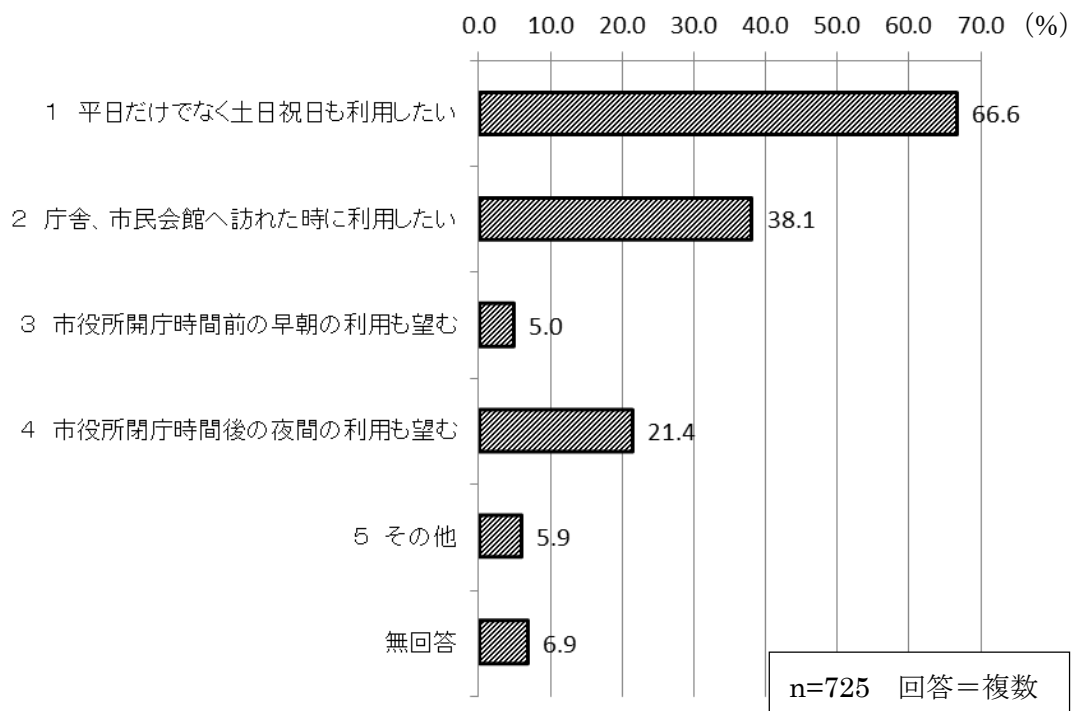
	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	気軽に軽食がとれるカフェ 46.8%	定食メニューが豊富な食堂 33.9%	家族で楽しめるファミリーレストラン 32.3%

【各年代とも上位項目は同様の傾向】

- 年代別にみると、50 歳代を除くすべての年代で「気軽に軽食がとれるカフェ」が第1位、50 歳代は「定食メニューが豊富な食堂」が第1位となっています。
- 「定食メニューが豊富な食堂」が10 歳代、50 歳代を除くすべての年代で第2位。50 歳代は「気軽に軽食がとれるカフェ」、10 歳代は「家族で楽しめるファミリーレストラン」が第2位となっています。

問 18 新庁舎展望レストランに望む営業時間について、あてはまるものを選び、○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 平日だけでなく土日祝日も利用したい
- 2 庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい
- 3 市役所開庁時間前の早朝の利用も望む
- 4 市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む
- 5 その他 ()



【平日だけでなく土日祝日も利用したいに多くの回答】

○上位の回答としては、「平日だけでなく土日祝日も利用したい」(66.6%)が第1位で、「庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい」(38.1%)、「市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む」(21.4%)となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 55.6%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 44.4%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 11.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 61.2%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 36.7%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 16.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 83.3%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 35.6%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 26.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 65.8%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 28.3%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 22.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 71.8%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 26.2%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 19.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 70.0%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 43.3%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 27.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 58.1%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 50.0%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 19.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	平日だけでなく土日祝日も利用したい 58.1%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 37.1%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 12.9%

【全ての年代で「平日だけでなく土日祝日も利用したい」が第 1 位】

○年代別にみると、全ての年代で「平日だけでなく土日祝日も利用したい」が第 1 位、「庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい」が第 2 位となっており、これに続く「市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む」が第 3 位となっております。

自由意見

●歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○歴史・文化、観光、情報発信・PR（１１件）

テーマ	意見例
歴史・文化 観光 情報発信・PR	・竹の径などの整備及び観光PR ・お土産の開発 ・海外向けのPR 等

○産業の活性化（１６件）

テーマ	意見例
産業の活性化	・企業誘致 ・飲食店の充実 ・新庁舎のレストラン活用 ・高齢者買い物環境向上 ・上植野周辺の商業活性化 ・駅前活性化 ・農産物・特産物のPR 等

○都市基盤の整備（１２２件）

テーマ	意見例
道路整備 駅周辺整備 公園・グラウンド・ 広場等整備 住宅	・物集女街道の整備 ・歩道や自転車レーンの整備 ・坂道が多い ・休憩場所の充実 ・電柱地中化 ・駅周辺整備 ・子どもがのびのび遊べる公園整備 ・緑あふれる街並み ・歩きタバコの禁止 ・空家対策 等

●人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○子育て、少子化対策（９件）

テーマ	意見例
結婚 妊娠・出産 保育	・ 出会いの場づくり ・ 保育サービスの充実 ・ 子育て支援センターの充実 等

○健康・福祉（２３件）

テーマ	意見例
健康・医療 高齢者 障がいのある人 地域福祉	・ 高齢者の集える場づくり ・ 高齢者の乗り物割引 ・ 就労支援の充実 ・ 健康づくり ・ ゆめパレアの料金見直し ・ 救護施設問題の解決 ・ １８歳までの医療費無料化 等

○環境・資源循環（３７件）

テーマ	意見例
廃棄物 自然環境 生活環境	・ ごみ回収について（回数増加、時間延長、ルール徹底） ・ 自然保全 ・ 野良猫増加 等

○防災・消防救急・防犯・交通安全、公共交通（４６件）

テーマ	意見例
防災 消防救急 防犯 交通安全 公共交通	・ 水害対策の強化 ・ 情報伝達の強化 ・ 街灯の設置 ・ 防犯カメラの設置 ・ アレルギー対応の防災食 ・ 歩行者・自転車・自動車の安全 ・ コミュニティバスの路線延長 等

○上下水道（１２件）

テーマ	意見例
上水道 下水道	・ 水道料金の見直し ・ 水道水の水質改善（味、におい） 等

○学校教育・生涯学習・スポーツ（１５件）

テーマ	意見例
教育環境 生涯学習 スポーツ	・ ＩＣＴ機器導入 ・ 自習できるスペース ・ 通学路の安全 ・ 楽器練習可能な防音室や野球ができるグラウンド 等

●信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○市民参加、市民協働（１２件）

テーマ	意見例
コミュニティ 市民参画	・コミュニケーション活動の拠点づくり ・ご近所付き合いの活性化 ・自治会の活性化 等

○行財政運営、議会（３３件）

テーマ	意見例
行財政運営 議会	・市役所本館・東向日別館の利便性向上 ・開庁時間の延長 ・適正な税金の使い方 ・職員研修の充実 等

●その他（２４件）

テーマ	意見例
その他	・小さくとも活気のある元気なまちづくり ・次の世代が住みたいと思うまちづくり ・時代に合った施策 ・競輪場の有効活用 等

【都市基盤に多くの意見】

○回収した全アンケート 725 件に対し、360 件（50.0%）で自由意見欄への記載があり、特に都市基盤の整備（122 件）へ多くの意見が寄せられました。

ふるさと向日市創生計画委員会 委員名簿

	役職、団体等	氏名
委員長	神戸国際大学経済学部 教授	中村 智彦
委員	向日市観光協会 会長	西川 克巳
	向日市商工会 会長	高橋 信吾
	京都府山城広域振興局 副局長	山本 哲司
	京都銀行 向日町支店長	岩崎 克巳
	連合京都乙訓地域協議会 三菱電機労働組合京都支部 執行委員	和田 泰徳
	京都リビング新聞社 編集長	山舗 恵子
	公募市民	松井 恒夫
	公募市民	青山 智圭子
	公募市民	大釜 章代

令和元年 12 月 23 日時点